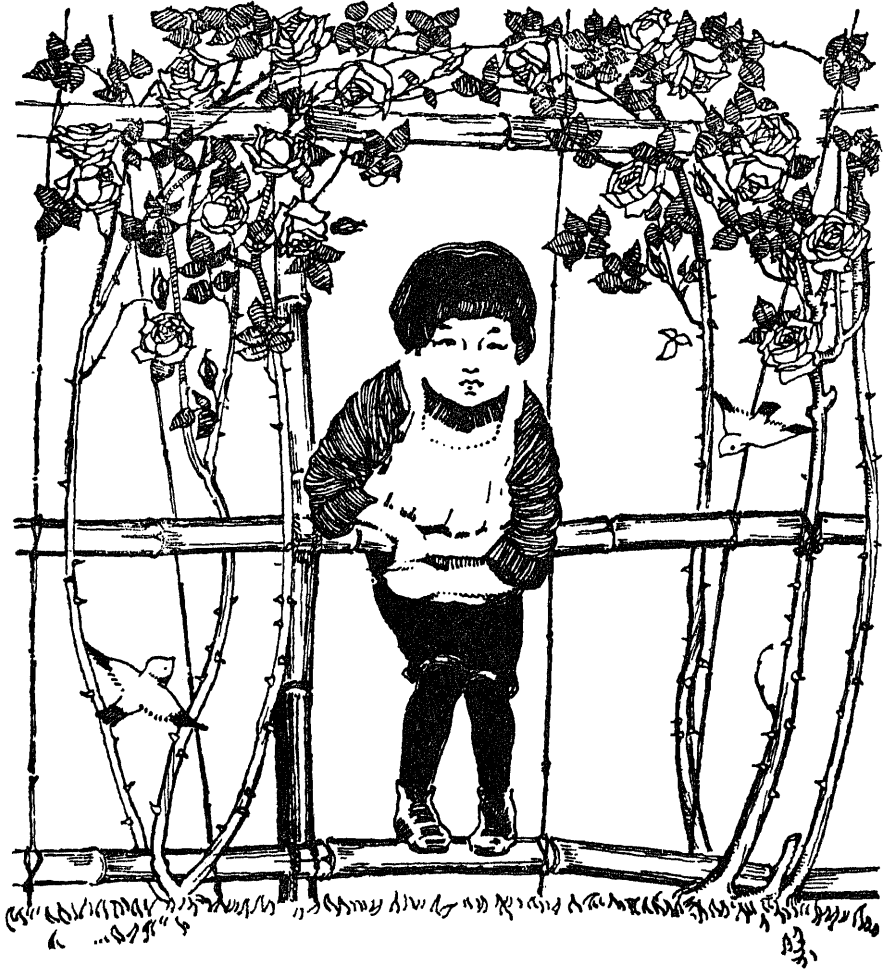


幼 兒 教 育

第 三 十 一 卷 四 月 號 第 四 號



東 京 女 子 高 等 師 範 學 校 內
日 本 幼 稚 園 協 會

奈良女高師教授 附屬幼稚園主事 森川正雄先生著

▲四六判四百頁 ▲定價二圓八十錢 ▲寫真挿繪入美本 ▲送料十八錢

幼稚園の經營

▲實際的保育方法を解説した新書 保育上の實際問題は訓練要目保育要目を初め總てを詳述解決さる。
▲現代幼稚園經營の模範的指導書 日本實際的保育方法を究明詳述し更に歐米の新研究を配し完璧とす。
▲保母一人に必ず一冊必須の名著 幼稚園及託兒所の實際的保育指針として保母の必携すべき權威書。

【次目内容】

- 第一章 幼稚園經營概論
- 第二章 幼兒の眞生活||幼兒の心身に付徹底的に闡明さる。
- 第三章 保育の眞髓||保育方法に付實際的に指示さる
- 第四章 家庭との連絡
- 第五章 躉け方要目(訓練要目)と其解説自由主義と要日主義との統合をなし實際方法を示さる。
- 第六章 保育要目と其解説自由主義と要日主義との統合をなし實際方法を示さる。
- 第七章 米國公立幼稚園に於ける最近要目の實例
1 デンバー市公立幼稚園要目と其の批判
2 ヒル女子幼稚園要目の批判
- 第八章 幼稚園の標準施設小學校時間割に似たる
- 第九章 幼稚園時間配當法とは是非と其方案
- 第一〇章 幼稚園に關する諸規定保育上の難問題と其解決
- 第一一章 託兒所の經營近時發達の託兒所經營につき詳述さる。

二十版 奈良女高師教授 附屬幼稚園主事 森川正雄先生著 定價三・〇〇 送料〇・一六

五版 奈良女高師教授 附屬幼稚園主事 森川正雄先生著 定價二・八〇 送料〇・一六

三版 奈良女高師教授 附屬幼稚園主事 森川正雄先生著 定價二・〇〇 送料〇・一六

五版 大阪家なき幼稚園長 大坂毎日新聞社顧問 橋詰良一先生著 定價二・五〇 送料〇・一六

東大 東京 東洋圖書株式會社發行

東京市神田區錦町三丁目九番地・東京發售部 三〇七番
大阪市南區安堂寺一丁目二番地・大阪發售部 九五六番



育教の兒幼 輯編會協園稚幼本日

會長 主幹

東京女子高等師範學校校長
東京女子高等師範學校教授
附屬幼稚園主事

吉岡 郷甫
倉橋 惣三

日本幼稚園協會規則

- 第一條 本會ハ幼児教育ノ改良發達ヲ圖ルヲ以テ目的トス
- 第二條 本會ハ日本幼稚園協會ト稱ス
- 第三條 會員タラントスルモノハ幼稚園ニ關係アルモノ又ハ幼児教育ニ篤志ナルモノトス
- 第四條 會員ハ會費トシテ一ヶ月金參拾五錢ヲ齎出スヘシ
- 第五條 令聞名望アル人ニシテ本會ノ事業ニ裨益アリト認ムルトキハ特ニ請ヒテ客員トナスコトアルベシ
- 第六條 幼稚園ニ關係アルモノニシテ本會ノ事業ノ爲ニ特ニ盡力ヲ與ヘラルハモノニ請ヒテ地方委員トナスコトアルベシ
- 第七條 本會ハ毎年一回總會ヲ開ク。但場合ニヨリ臨時休會スルコトヲ得
- 第八條 本會ハ左ノ事業ヲ行フ
 - 一、幼児教育ニ關スル研究及ビ調査
 - 一、幼児教育ニ關スル講演會及ビ講習會ノ開催

一、雜誌發行（毎月一回）

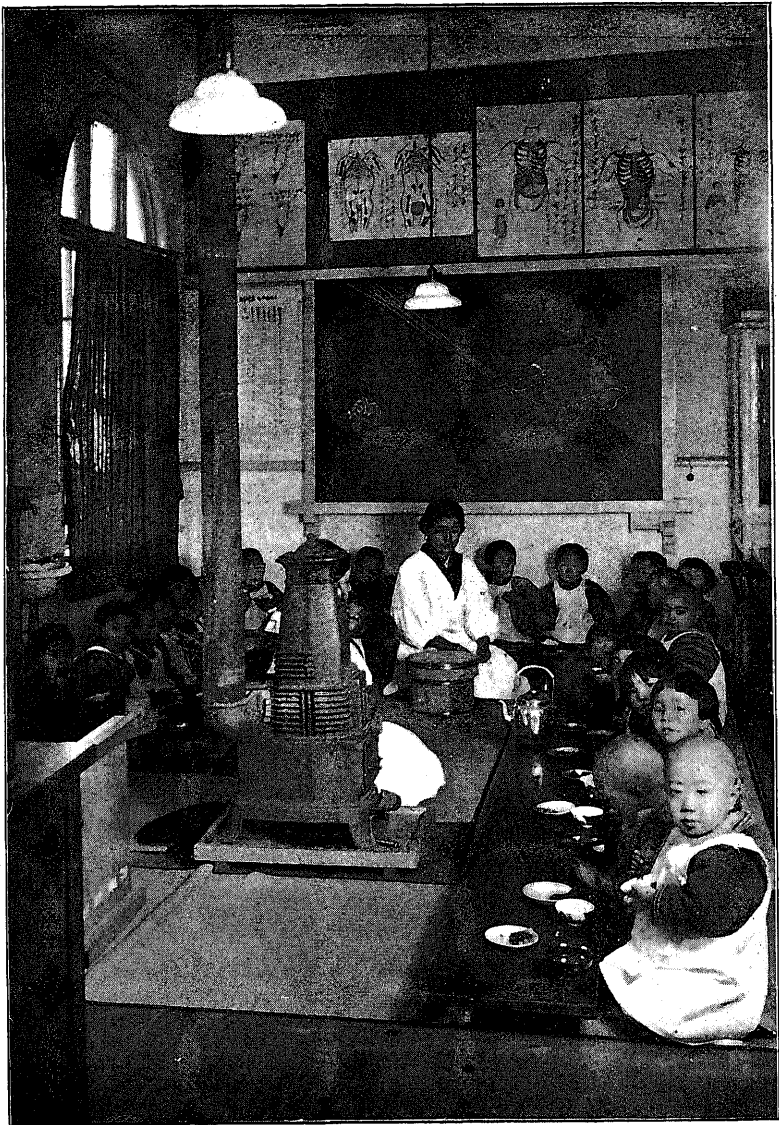
- 一、幼児教育ニ關スル圖書刊行
- 一、保姆就職及招聘ニ關スル仲介
- 一、其也本會ノ目的ニ裨益アリト認メタル事件
- 第九條 本會ニ左ノ役員ヲ置ク
 - 會長 一名 會務ヲ總理ス
 - 主幹 一名 會長ヲ輔佐シテ會務ヲ掌理ス
 - 幹事 若干名 會長ノ指揮ヲ受ケ會務ヲ分掌ス
 - 評議員 若干名 重要ナル事件ニ關シ會長ノ諮詢ニ應ズ
- 第十條 會長ハ客員中ヨリ推薦スルモノトス
- 第十一條 主幹 幹事 評議員ハ二ケ年ヲ期シテ會長ヨリ推舉スルモノトス
- 第十二條 本會ハ必要ニ應シテニ委員ヲ設ケ又ハ書記ヲ雇入ル、ノトアルヘシ
- 第十三條 本規則ハ總會出席會員ノ三分ノ二以上ノ同意ヲ得ルニアラザレハ變更スルコトヲ得ズ



第三十一卷 幼 兒 教 育 第 四 號

—(次 目)—

口 繪	楽しいおひる 健康診断 (玉姫託児所) (玉姫市民館)
卷頭——驚く心	倉橋 惣三(一)
ミス マクミラン ナーセリースクール	宇佐美ケイ(二)
託児事業の特質	朝原 梅一(七)
參觀記——東京市玉姫町市民館	新庄よしこ(三)
母に代りて	北井ますゑ(三)
ホームに基調せる幼稚園經營の一端	岡 政(三六)
園兒の作つたいろはかるた	福島幼稚園(三五)
保育手帖の中から	會津保育園(三八)
春うらゝか	よしこ(四一)
昭和保母養成所第四回卒業式に列りて	氏 原 銀(四三)
ぬきがき	日 豊(四四)
音喩と仕形	長 尾 豊(四八)
四月の特技材料	和 田 實(五)
四月の園藝	大 岩 金(五)
歐米に於ける學校給會の現状(承前)	原 徹 一(五三)



楽しいおひる (玉姫託児所)



健康診斷(玉姬市民館)

幼 兒 の 教 育

昭 和 六 年 四 月

驚 く 心

あや、こんなところに芽がふいてゐる。

畠には、小さな豆の嫩葉が、えらい勢で土の塊を持ち上げてゐる。

藪には、固い地面をひき割らせて、ぐんぐんと筍が突き出して来る。
伸びてゆく蔓の、なんといふ迅さだ。

竹になる勢の、なんといふ、すさまじさだ。

驚く心、それだけが、自然の真髓を、ほんとうに見る。

あや、この子に、こんな力が。

あの一と言、なんといふ純真さのだらう。

まあ、この線の生きてゐること。

えつ、あの子が………。

驚く人であることに於て、教育者は詩人と同じだ。

驚く心が失せた時、詩も教育も、形だけ美しい殻になる。(倉橋惣三)

ミス・マクミラン・ナーセリー

スクール

宇佐美ケイ

ロンドンの端、貧民窟の中央にある。教へられた小路をはいると低い汚い一寸日本の長屋といった感じのする建物の上部の壁に、マクミラン、ナーセリースクールと書いてある。餘りに小さいので疑ひながら路ゆく人に聞いて見ると其處だといふ。入口を教へられてはいる。板圍の粗末なものである。此處を訪ねた頃は十一月半ばの所謂ホツギムーンで来る日もくも霧の深い寒い日であつた。木造平家建の粗末な建物が五つに分れてその二つはやゝ低い地所にある。外からの感じからすると中は割合に廣く相當の庭がある。(案内された時間より早いので外に立つて見てみると他にぞろ／＼と大勢の參觀人が後から／＼と来る、所謂今日が參觀日なのである十一月十三日水曜日)可愛い人達がすっかり朝の化粧がすんで、水色やピンクのガウンを着、それと同色のリボンをつけて、お部屋に集つたところ。朝食を取らずに母親に送られて来る子は此處でいたゞく。

最初はいつて見たのは横長い建物で三室を通して使つてゐる。三歳から五歳までの幼児が五十人此建物の中に居る。ストーブが三つある。部屋の周圍に棚があつて種々の人形や花が澤山のつてゐる。子供は

如何にもさつぱりとして血色も皆よく、愉快そうな、然も粗暴でないところがとても貧民の子供とは思へぬ。ガウンは毎朝洗濯したものに着かへさせ決して二日着せることはないといふ。せまい附屬した部屋に手洗が三個所あり、各自のタホルと小さい切とが番號の下にかゝつて居り、更に齒ブラシと櫛とが其處にかゝつてある。此設備は各建物に皆ついてゐる。幼兒全體三百五十人の中八十人が學齡兒、午前十時半から五時半まで預る。自然朝食前に来るものもあるわけになる。庭は清くはき清められ花壇があり、薔薇のトンネルがある。廣い平坦な場所に英國特有の小鳥の行水の鉢が二つ置いてある。鳩が澤山ゐて鉢の縁にとまり、四羽位一度に中よく行水をしてゐる。

先生が十數人の子供を引きつれて鳩に餌をやつてゐる光景は遠くから見てもいへぬ。二歳三歳のごく赤ちやんの組、三歳から五歳の組（最初見たもの）五歳のみ組など四つの建物に別れてゐる。

一つの部屋で、其處の大方の子供は皆きれいに仕度が出来たが一人耳に腫物が出来てゐるらしく、先生がブラシで髪をといたあと薬をつけてやつて居られた。薬箱はお菓子 の 明箱である。子供は鼻をよく紙を一枚づゝ先生から貰ひ皆鼻汁をとる。先生が屑籠を持つて來られる。それが圓筒形のお菓子の明箱であつたりするがの實に嬉しい。

トウレニングカレッツの學生は水色の木綿の洋ふくで頭に同色の切を普通のナースの様にかぶつてゐる。

一寸此處にカレッツの事を附記する。

高等女學校卒業後二年間の修業で皆ナーセリースタールの先生になるので普通の家庭に雇はるゝナー

スにはならぬ。學生は皆四ヶ所の寄宿舎に分宿してゐる。今立派なカレッジの校舎が建ちかけてゐる。學生は現在四千人で一ヶ年一人の學資が八十ポンド、日本金八百圓、宿費總てを合算してである。學生が皆眞劍で先輩の指導の許に實際に子供の世話をしてゐる、所謂實習をしてゐる。

十時半頃から一せいに各部屋とも仕事にかゝる。二人或は四人の机を任意の位置に並べる(遊戲の時は全部とりのけ食事の時はこれが食卓になる)、實に熱心にだまつて思ひ／＼の玩具で遊んでゐる。何處へいつて參觀しても感ずる事であるが英國の子供はちしやべりをしない。玩具はモンテッソリーの教具に似たものもありまたフレイベルの恩物もある。然し玩具は皆此處で考案されたものだといふ事で面白と思ひ、また參考になつたものが實に澤山ある、かうして部屋で一定の時間子供に與へるものは皆文字、或は數の學習を加味してゐるものであるが、フランスの幼稚園で見たものとは趣きを異にしてゐる。特に計へ方の稽古を遊びの中に始める事に非常に工夫がこらされてゐる事が著しい。それに玩具が皆よく使ひ古したものであるが失せて居らない、例へば一つの動物や、けしきを種々な線できり離されてゐるのを組み合せて行く玩具など實に古いものであるがどの子供のもしつかり揃つてゐる。私共のはかうはいかぬと實に大事に取扱はれてゐることに感心する。

遊具の二三を摘録すると、(文字の方で)子供らしい繪の書いてある紙に例へば赤い窓の家が描いてあつて其繪の下に「あの家の窓は赤い」と書いてある。同じ文字のカードを探して其の上に重ねてゆく、など。(計へ方の方で)長方形の臺の上に棒が立てゝある、その棒の根元に1、2、3、と數字が十まで書いてある。其數だけの金の輪を通す遊び、これに類似の玩具が實に多種ある。

遊戲は律動遊戲、動作遊戲、可愛いものを澤山觀た。正十二時ランチである。午前のランチがないの

で普通よりは一時間早。

みんな手を洗ひ、髪をくしけずるテーブル掛のかゝつた卓につく。一人一人可なり丁寧にシャボンをつけて手を洗つてやる。拭ふのは自分でする。テーブルの用意は交代に子供がすることになつてゐる。先きに仕度の出来た子供はおとなしく待つてゐる。其間約三十分、一同揃つて食前の感謝の歌を歌ふ。皆両手を合せて、實に涙ぐましい光景である。各テーブルに六人位、それに一人の給仕人がつく。給仕人は（勿論當番幼児）まづ小さいトーストのかけらを一つ宛配る。やがて香のいゝ馳走が大きいニユームの鑪にいて中央料理場から運ばれた。中に澤山ポテトがはいつてゐる。先生かよくその大きいのをくぢませてどろ／＼のよいしそうなシチューを深皿に適度に盛られたのを給仕人が大きい匙を添へて持ち廻る。皆緊張した顔で見守つてゐる。順々に上手に自分の皿にとる。足りなくなるとまた鍋から先生にうつしていたゞいて來て順々に給仕する。給仕人はご馳走が深皿に少なくなつてやつと一人分位になると匙でよくかき集めすくひあげて差し出す所など正に本格の給仕人である。其仕草に丁度私と並んで參觀してゐた一米國婦人と思はず顔を見合せた事である。中に一人やせた弱そうな男兒がテーブルスプーンで何杯かお皿にあふれるほどとつた。お腹がすいたのであらう。給仕人も何もいはず同じテーブルの子供は勿論、先生も一こともいはれぬ。私は多分残すであらう。大人でも一寸あれだけはいたゞかれまいと思つて見てゐた。お給仕がすつかりすみ、給仕人が食卓について皆一せいにたゞ始める。すつかり給仕人がすんでからたべるのは英國風ではないが此方がよいと思ふ。よいしそう、嬉しそう、果せるかな先きの男兒は皆がすんでもまだ中々である。しかしすつかりたべた。苦しかつたであらう。この兒はこの失敗を二度は弱りかへすまい。先生が傍からちと多すぎはしませんか、など注意しないところに

經驗による教育がある。普通なら一寸口を出したいところだがと感心する。

ランチの後、皆外に出て散歩位して午睡が始まる。二時に醒めて髪を櫛す。軽いお八つ、牛乳にビスケットの小さいのを二ついたじき洗面して三時半から四時半まで手技、遊戯などして五時十五分前から五時半迄の間に父母兄弟の迎へをうけて皆歸る。

ナーセリースクールの經濟の事をたづねた。ミスマクミランの私財で創立したもので、二歳―五歳までの子供の食事のためにロンドン市參事會から、他の一般の此種の學校と同様の補助をうけてゐるが他は全部自給自足である。故に何等の拘束をうけない自由の學校である。小學校の方も他からの子供を交へず幼稚園から進むものだけである。

ミスマクミランは英國の女子教育家として有名なばかりでなく保育事業をする世界の同勞者の尊敬をうけてゐる偉大な先輩である。其の指導と訓練の下にある若き先生方、養成所の學生も質朴にして眞面目。幼兒も他の幼稚園に比して其の健康狀態、その他の點に於て可なりの相違がある。その凡ての點に於て貧兒とは思へぬ落ちつきと柔順さ、快活さ、私はこれ等の幼い人たちを何といふ幸福な子供たちであらうとしみじみと思つた。此種の事業として最も勝れたもの、ことにその内容全體に於て他に類を見なかつたほどである。

前述の如く建物は實に粗末であるがよく整頓し、食物調理場の如きは實に清潔である。如何にも行き届いた主婦の支配下に一絲亂れず整頓した一大家族の感がある。私は此處で幾度か、野口先生の經營されてゐる東京の二葉保育園を思つた。日本に此種の兒童保護事業が多く興らん事を祈つた事である。

ミス・マクミランの馨咳に接する機會を遂に得なかつた事を今も残念に思つてゐる。

託兒事業の特質

朝 原 梅 一

大正十五年四月發布されました幼稚園令と共に文部省から發せられました、訓令第九號の趣旨を好く承知いたしますと、今更託兒事業の特質を述べる必要もない様に、新幼稚園令は從來の託兒所の内容をも充分に含められて居る様に思はれますが、在來の習慣と云ふものは恐しい強い力を以て居りまして、新幼稚園令の趣旨に叶ふた保育をされるものが甚だ尠いのを遺憾といたしますし、また託兒所におきましても、經費不足の關係から、本來の使命を外にして、舊令の幼稚園の内容のみの様な保育を行ふて居るものもあると思はれます、それでありますから、託兒所も本來の使命を果すことを努め、幼稚園も新令の趣旨に添ふ様に努力しなければならぬと思ひます、それで茲に改めて託兒事業の特質を少し述べたいと思ふのであります。

× × ×

託兒事業とは何であるかと申しますとその託兒事業にも農繁期漁繁期等の一時的のものもあります、が、こゝに常設的な託兒所を主として考へて見ますと、「經兒所は幼兒ヲ保育シテ其心身ヲ健全ニ發達セシメ善良ナル性情ヲ涵養シ家庭教育ヲ補フト共ニ其ノ家庭ノ生活ヲ向上セシムルヲ以テ目的トス」とて

も申して好いかと思ひます。その目的に就きましては幼児を保育することは幼稚園と同じであります。その家庭の生活を向上せしむると云ふ所に一般な幼稚園保育と少し異つた所があると考へます。その家庭生活を向上いたします方法と致しまして、両親の足手纏ひとなる幼児を朝早くから、夕方まで預りまして、親達は後顧の憂なく、終日労働に従事いたして、それに依りまして家庭の収入を増し家計をより樂にして、多少なりとも貯金でも出来る様に導くことでありまして、これが物質的な家庭生活の向上になるのであります。それからまた、子供を放棄して置きますと、面白くない風習に感染いたしますのに託児所に来て、健全なる發達を遂げると云ふことは、幼兒自らの精神向上の基礎となるのは申すまでもなく、それに伴はれて家庭の親達の精神生活を、向上して行くことになるのであります。殊に精神生活の向上を計るために頻繁に催されます、母の會等におきましては、正しい育児法を授けましたり、或は保健衛生及び經濟等の知識を普及することは、親達の常識を増すことであり、それによりまして幼兒の美しい生活向上の新芽を育てることになりますのであります。かくして託児所は幼兒の將來を幸福ならしめる芽萌を育てると共に家庭生活を向上せしめ、その向上の思想は隣の家から隣への家庭へと傳播して託児所の對象地區民一般の生活をも向上することになるのであります。

託児所が晝間働きに出る家庭の幼兒を預つて両親に安心させて働かせるためには、朝早く、労働に出る前から預つて、一日の労働を終つて、夕方歸つて来るまで預つて保育しなければなりません。こゝに於て、朝八時から九時頃から保育を始めまして、午後一時か二時まで保育する幼稚園などと大に異なる所であります。この様に長時間に亘つて保育いたします場合には午前一度午後一度位はちやつとを與へる必

要が生じて來るのであります。時とすると、夕方遅くなると幼児のために晩飯の用意をしてやらなければならぬことがあるかも知れませんが、けれどもこゝに問題となるのは保育料のことでありまして、この様におやつなどが必要になつて、幼稚園よりも多くの經常費を必要とするからと云つて労働者の家庭では幼稚園に行くよりも以上に保育料を出さなければなりません。現在の労働者の生活状態では多額の保育料は負擔することの出来ない状態にあるのでありまして、幼稚園では保育料二圓乃至五圓を徴収する園が普通の様であります。託児所では日納は三錢乃至五錢でありまして、月納は一圓乃至一圓二十錢が一番多い様であります。そこで官公衛の經營は何等困難はありませんが、私設の團體ではその維持費に、困つて居りました所から、從來はその經營を助ける意味に於て、基礎鞏固な團體に對しましては、宮内省の御下賜金及び國庫（内務省）府縣、市町村恩賜財團、慶福會等から社會事業獎勵助成金を交付され、その外に託児所後援會其他の寄附金がありまして、これを經費に充て、託児の家庭から徴収する保育料は主なる經費になつて居なかつたのでありましたが、近年特に篤志家の寄附金が減少し交付金も減額する等のこともありまして託児所の經營難に陥りまして、段々保育料を増額して、甚しきは幼稚園に變つて終ふ様なものもあり、保育時間を短縮して、おやつ（間食）を與へない様な傾向のものもあります。こうして託児所とか保育園とか申しましても内容は昔の幼稚園ので、幼稚園令に依らない幼稚園的なものが非常に多くなつて行く傾向があります。こうした保育事業ではこゝに主張しやうといたします。本筋の託児事業の使命を果すことは出来ないものであります。

更に保育すべき幼児そのものに就いて考へて見ますと、幼稚園の様に年齢が揃ふて居りません。託児

所の使命を果す託児所は極めて年齢が不揃で、終了式などで見ると、満六年で小學校に入學するのに、五年間保育、四年間保育、三年間保育等はざらにあるのでありまして、如何に家庭で世話のやける幼児が長い間託児所で保育されたか知られます。またつまらぬことでありますが、幼児の服装などに就いて見ましても、和服のものもあれば洋服のものもあり、時には季節はづれのものを着て居るものもありそれが各々相當洗濯と、繕ひとを要するものが多いのであります。それを保母さんなどが氣にして、美しいもの、ござつぱりしたものにしやうといたしますと、そう出来ない家庭の幼児は服狀の點から氣が引けて、託児所に来るのを嫌ふやうになるのであります、だから託児所で上靴や、上草履でも揃へることは出来ません、何時でも種々雑多な思ひおもひのものを持つて居り、寒中でも素足で居るものもあると云ふ始末で、言葉通りの千差萬別を如實に表して居るのであります。こうした状態も外觀から知ることの出来る託児所の違つた所であると思ひます。

ところが幸なことには極めて小さい、また言葉も充分に發しない幼児時代から託児所に預つた幼児は保母に好くなづきまして、極めて素直でありまして保育上で誠に都合が好いので甚だ惠まれる譯であります。それに引き換へて、四歳五歳の時代まで野放ちの様に育てられて居た幼児を新に預りますと、それ等が外の幼児の保育を妨げる様な場合もあります。それで小さい幼児時代から預ることが家庭からも、幼児からも、託児所からも好都合であり、使命を完ふすることになるのであります、従ひまして、保育におきまして、幼稚園の様に遊戯や、唱歌や、手技、自由遊び等で完ふすることが出来ませんので湯に入れたり爪を切つてやつたり髪をとひてやつり濕疹などの手當をしてやつたり、ほころびを縫ふてやつたり甚しきは着物の洗濯をしてやる必要もあるのであります。本當に慈愛に満ちたお母さんの働

さをしなければならんのが託児所の保育であります。

× × ×

託児所はこうして労働者の家庭のち母さんに代つて幼児を保育するのでありますからこうした行き届いた保育をして頂きますと、家庭のち母さんは、自分が幼い子供にでもなつた様に保姆さんに自分が保育されて居るとでも思ふ様に大きなお母さんとして、尊敬して家庭の出来事の相談を持ち込んで來るのであります。時には家庭の破壊されんとする安全弁になることもあれば、學校教育の指導者となることもあれば、時には子供の着物の買ひ入れの相談にまであづかつたりする ともあるのであります。幼児の家庭と託児所の保姆さんがこうしてしつくりと聯絡が取れまして、幼児が持つて居る身體と精神とを健全に發達させやうとするばかりでなく、家庭の生活が物質的に精神的に、向上する様になるのであります。その向上の生活は前にも申しました様に隣りから隣に移つて、多くの人達の生活が向上する様になつて行くのであります。託児所がその使命として向上させなければならぬ對象地區をもつと云ふことが幼稚園と非常に異つて居る所でありまして、その目的を達するために以上の外に託児所を出して學校へ入つた子供のため児童俱樂部とか簡易圖書室とか、附近及在所の幼児ために健康相談所を設けると安全な遊び場としての児童遊園を設けるとか云ふ様な附帯事業を必要とするのであります。それはなかなか理想通りには参りませんで現在では託児所の機能も充分に發揮することが出來ないのであります。けれども將來は純然たる託児所と、幼稚園に類似した託児所とが明に區別されなければならぬと思ひます。そして託児所と云ふものゝ本當の使命を果すことの出來るものを、もつと重要視しなくてはならぬと思ひます。

参 觀 記

— 東京市玉姫町市民館 —

新 庄 よ し こ

三月十日保育實習生二十餘名と淺草玉姫市民館
に行く。

乳 幼 兒 室

二階の乳幼児室にはいとまづ可愛らしいベツ
トがストリツを中央にして二十五六並んで居るの
が目につく。こゝは四歳までの子供の室で一人遊
びをしても危険のないやうにといふ設備上の注意
がそここゝにうかがはれる。淡紅、水色のセルロ
イド、赤ちやん用の玩具が天井から下げてある。
生れて半歳からこゝでお世話になり一年六ヶ月

になったのが今では最年少ださうな。この子が屋
上庭園のスベリ台に一人で上りかけてお客さんの
私達へチョココンとおぢぎした。積木、木馬等てそ
れく遊んでゐる。

階下にお風呂場がある、タイル張りの立派な。
大きい子供の爲には深く、この乳幼児組のは特に
小さ 浅い湯槽。これに毎日いれていたゞく。こ
の一組を若い保姆さんは一人づゝ着物をぬがせ
る、湯槽に入れる、洗ふ、拭く、着物を着せる、
室につれて行く。それが時にはごみだらけのや、
たまには腫物のあるの、鼻汁の出てるの、そん

なのを毎日入浴させておいてです。

是等がいゝ氣持でお晝ね、落ちないやうにしてあるベットに一人づゝ、洗ひ清められたシーツ、枕かけて、すぐスヤ／＼と眠るのもあるが、中にはキウビーを抱いたり、繪本をいぢつたりしてもぢ／＼してゐるのもあつたがしばらくの後行つて見たら一人残らず熱睡してゐた。この室は極寒の時でも必ず六十度以上に暖められてゐる。是にツイたペランダ式の一室は四方硝子張りてまことに理想的な一室、こゝにも幾つかのベットで眠つてゐる。寢顔の愛らしさにひかされて一人づゝ顔をのぞいて見た。

お晝食は疊の室で。チャブ台が四つ程並べてあり、是をみんなが圍んで家から持つて來たお辨當を行儀よく食べてゐる。隣が台所、家から持つて來るのでは時に營養が不足なので市から日々味噌汁とかお豆腐汁とかを補給される。今日はスープ

でお豆腐汁で、お汁お汁とどの子もお代りをしておいしさうに食べて居た。

或時寄附があつたので脂肪分の多い食事を皆に食べさせたら皆のうたふ唱歌の聲がいつもより大變力強く保姆さんに感じられたので、その後は猶更出來るだけよい食事をさせ度いと願つて居られる由。

屋上の一隅に一つ身の着物やおムツが竿にかけてある。着る物迄保姆さんのお世話で、家からきたない／＼着物を着て來るのは、着かへさて下さる。寄贈された衣服を解いて洗つて宿直の保姆さんが縫つて着せて下さる。それ故この子供達はきたない感じはちつともしない。

かうして遊んだ後又お八つをいたゞいて四時頃歸る。親の都合で六時頃にもなる。

普通の家庭で四歳位迄は何をするにしても人の手を待つて生活してゐるのをのみ、見なれた目に

はこの保母さんのなみくならぬ力を感激なしには見てゐられない。従つて市の行き届いた設備萬端と温かい保母さんの心によつて僅か生れて一年餘から、知らず知らずの間に一人づゝの生活を習慣づけられて行く有り難さを感じた。

右の乳幼児室が普通の幼稚園で見られない所では五歳組六歳組、七歳組と三つに別けて夫々の保母さんによつて保育されてゐる。乳幼児室から引つゞいて來るもの、他からはいるもの等にて。

朝の六時から夕方六時迄の保育案、日曜の保育案。四時には歸る事になつてゐて家庭の都合で六時から六時迄居る少數の子の爲につくられてゐる保育案。この早い朝のために遅い夕の爲に保母さんには宿直がある。

右の保育案でも明らかであるが實際の保育を見ても託兒所ではケイヤーが實に行届いて行はれて

ゐると思ふ。去年の夏の倉橋先生の講習でのお話をしみて、今思ふ。勿論こゝでは必要にせまられてのケイヤーであつて是程にすることもあるまいが、おろそかになりがちなケイヤーをもう少し考へねばなるまい。

夫々の室で切紙、遊戲、恩物遊び等見たが是等は特に變る事もない。お辨當は、大多數は家から持つて來るけれども中には給食されてゐるのがあつて御飯も、お菜も西洋皿にいられたのを食べてゐる。やはりお豆腐汁も添へられて。幼兒は各自保育料二錢(是さへ免除のものあり)お八つ代二錢づゝを持つて來る。保母さんはお辨當の際受取つて受取を又お辨當に入れて家庭に持ち歸らせる爲にこの時は大變に忙しい。このお勘定に、お汁のおかはり、お湯をついでやる、保母さんは幼兒と卓を圍んで談笑の中にお辨當をいたゞくなどとは夢にも出來ないこと。代り合つて一時半頃迄に

一週間の保育案

土	金	木	水	火	月	日	
同	同	同	整頓 同	眼治 同 耳療	爪治 同 切療	園個自 體人由 遊遊遊	十午 前六 時時
同	同	同	同	同	同	會 集	十十 時半 時
遊 戲	觀自 然 察物	お 話	自 由 畫	箸五 並 べ色	積 木	恩 物 遊	十一 時半 時
同	同	同	同	同	同	食手 事洗	十一 時半 時
同	同	同	同	同	同	自 由 遊	二十 時半 時
遊共 戲同	繪 本	つ自 然 ぎ物	細毛 工糸	織 紙	張 紙	切手 又 キ技	三二 時時
同	同	同	同	同	同	お手 入 つ洗	三三 時半 時
同	同	同	同	同	同	自 由	六三 時半 時

すませられる由。二時迄が自由遊。たまに砂場を

掃除すると知らず／＼に埋つてゐた、一錢銅貨がそれは／＼澤山出ますと保姆さんのお話。折柄おどけ姿のチンドン屋が一層チン／＼高くならしてこの前を通ると今迄遊んでゐた數人の幼児は吸はれるやうにかけて行き塚に上つて見る。わざと子供的心をそゝりに來るさうな。前通りずつと並んだ市營住宅の窓から一人の半白の老人、ものうげに外をヂツとながめてゐる。こんな風景はさすがに託兒場ならでは見られない。

前の乳幼兒組は手のかゝる事は是等の數倍であるが保姆さんの心のまゝに素直に行動してゐると思はれるが段々大きい組になるにつけ、親の、家庭の影響を多分に受けて性格上保育しにくい點が多かろうと思ふ、是がなみの家庭の子をのみあづかる人に知られぬ託兒場の保姆さんの容易ならぬ苦勞であらうと、それは自由遊の際殊に感じら

れた。

こゝに來てゐる幼兒をかうして見てゐると着物はさつぱりしてゐるのでさして貧しい家の子とも思はれないがどうして／＼夫々になまやさしい事で生活してゐるのは殆んど無い。

母一人で四人の子を育てゝ居る、三疊に六人の家族が三枚のせんべい蒲とんにねて居る。

鼻緒の内職で前鼻緒をつけるのに五十で僅か十錢を得る。

ひろひやでは迎ひに來た母親の顔色がよいとひろひの多かつたのを知る。

大體こんな様子であると。

猶この北井まするさんが私達の爲に左のやうなお話をして下さつた。

「皆さんがかうした所を見て下さつて少しでも世の中に託兒所がわかつて下さるといふ事はほん

とに嬉しうござります。

こゝを御覽になりますと、託児所がそんなにひどい所、きたない子ばかり居る所とも思ひになりませんでせう、さう思つて下さる事はほんとに私共の誇りなのでございます。でも以前は随分ひどい建物で殊に震災當初のみぢめな託児場、皆様の御記憶にもおありでせう、千駄ヶ谷などで空地を利用してテントを張つての保育、あの頃の事を思ひますと設備も十分、幼児のみなりもさつぱりして来たといふのが私共はほんとに嬉しうござります。

震災直後或る特志家の莫大な寄附金がありました。それを如何にやくだゝせるかといふ時に當つて、倉橋先生やその他の先生方がまづ託児場の保母さん方の保母としての教養を養ひ高めるのが急務であるとの御意見で諸先生方の御盡力で古川橋（もと東京府古川橋託児場）に託児場保母の爲に講

習を開いて下さいました。私共は子供を歸してかばらずから時とすると時間に間に合はず、電車は非常に混み合ふ、仕方なく通り合せの誰れ彼れの自動車をとめて譯を話してお願ひし最寄りの處迄乗せていたゞく、或時など侍従の方の車に乗せていたゞいて恐縮した事もありました。お遊戯は土川先生に。覺えた積りぞ考へ／＼歸る途中で忘れてゐる處に氣がつく、銀座の通りで場所もかまはず友達から教へて貰ふ、明日子供に是を教へようといふ心には通りが／＼りの人が笑はうと何しようといふ心なものでした。今、かうして建物は立派になり子供だけ見てゐると何の變りもないといふ事はあの震災直後にさうした諸先生方のおかげと市の大きな力、特志家の厚い情の賜と私は實に／＼嬉しうござります、と。つゞいて、私があゝの保育案で見れば日曜も休みなし、日々のお歸りは遅いので保母さん方の體が續くかしらといふ問に對し

て、

「月々第一、第三の日曜がお休みです。こちらの保姆さん方はみんな若い方ばかりですが殆んど休みなしによくおつとめです。中には吉祥寺(編線)の方から二時間餘もかゝつて日々おつとめの女學校出たちの若い方なども、家がそんな遠くでも疲れもしないで一生懸命して居られます。」

時にはこちらに来て間もない保姆さんは、私に先生、幼稚園と違つてひがみが強くてちつとも思ふやうになりません。託兒場は保育がしにくくて苦しいといふ人があります。私は、來てすぐにそんな事は云はれませんが、まあ辛棒してやつて御覽なさいと云ひますが、やがて半年一年とたつ中大變らしくなりました、思ふやうに子供が動いてくれますと云はれるので、半年の経験は大したものでせう、その力強い経験によつて子供は自然と思ふやうに動いてくれるのですと云ひます。

夕方、ほかの子は皆家に歸つてしまつたのに一人の子だけが残る、いつもの時間が過ぎてもお母さんが來ない、その時は、いつ迄も残つて居て厭だとは決して思ひません。あゝお母さんが遅いけど、どうしたんだろう。何か變つた事があつたのではないか、と心配になります、子供の心に代つて母を待つて居ります。」

北井さんのお話はどれも／＼私共の心を強く打つ事ばかり、たど／＼しい私の筆ではつくし切れぬことを惜しいと思つた。

健康相談

三月二十七日、再び玉姫市民館を訪ふ。健康相談の状況を觀に。

市民館での仕事の一つとして火金の午後二時から間島偶氏御擔當で健康相談が行はれる。この先生の御診斷振り、この階級の母親達への應答ぶり

等拜見したいと思つたが御都合にて今日は女醫の方。

ストーヴで暖められたかなり広い一室にはお母さんが夫々子供達の仕度をして順番を待つてゐる保姆さん(託兒所醫務専門の)が一人づつ赤ちやんの目方をはかつて記入してゐいで。

別室の寢台の上でお母さんは赤ちやんの着物をぬいで診ていたゞく。先生は體重表を見ながら丁寧に診察してそれゞく適當な處置を教へて下さる。

「よく肥つて來ましたね、こんなに目方がふえた」

「さよですか、今日はお乳の相談に上つたんですか」

「一日何度位」

「七度ばかり、ミルクが四度で私のが三度です」

「六回になさい、ねエお母さん」

「へエ、どうも通じが固くて困るんです、毎日洗腸してますが」

「洗腸はいけない、癖になるから、少しお砂糖湯のをまかせてごらんなさいよ」

.....

「少しお腹をこはしちやいまして」

「さう、お乳が多すぎるんぢやない、こんなに目方が減つた、一日何度やつてるの」

「へエ、七度はかり」

「七度、そりやいけない、一日ね、朝の六時からあしたの朝の六時迄に六度ですよ」

「夕方迄に七度やつてしまふので、夜中はチョイ〜」

「そりやいけないよ、お母さん、六度にして下さい。三日ばかりお母さんががまんするんですよ、きつとよくなるからねエ、お乳のきまり

をつけませうよ」

「へへ」

.....

子供二人連れて来た若いお母さん、赤ちゃんは異状なし。五歳の子

「これ肋膜炎をしたんですが、もうお医者さんがいへとおつしやつたものですから薬をやつて居ないのです」

特に丁寧に診察。

「お母さん、まだいけませんよ、薬つゞけなけりや、すつかり癒つてゐませんよ」

「さうですか、寒いと遊ぶのが厭だつて家にはから引込んでゐますよ」

「たしか濟生會だつたね、薬いたゞく方がいゝ」

.....

「私の乳がちつとも出ないもので、どうでござんしよ、重湯ませたら」

「どうして、まだこんな赤ちゃんに重湯は無理だ、乳首はチカ附けでせうね、見せて下さ

5」

持つて来て牛乳瓶を見て貰ふ。

こゝに來たお母さん達はみんな正直だ。ありのままをそつくり打あけて話す。云つて都合の悪い事や、恥しい事でもかくさず相談に來る。お医者さんも保母さんもそれに對してまことにあたゝかい應答をしてゐるのでそこにも此處にもまことに美しい雰圍氣がかもされる。衣食住だけほんのチョツピリ人なみに足りてゐると、たまには、體裁や、つくろひもしたくなる、そんな事なんぞはねどばされてしまひさうな氣がした。

~~~~~

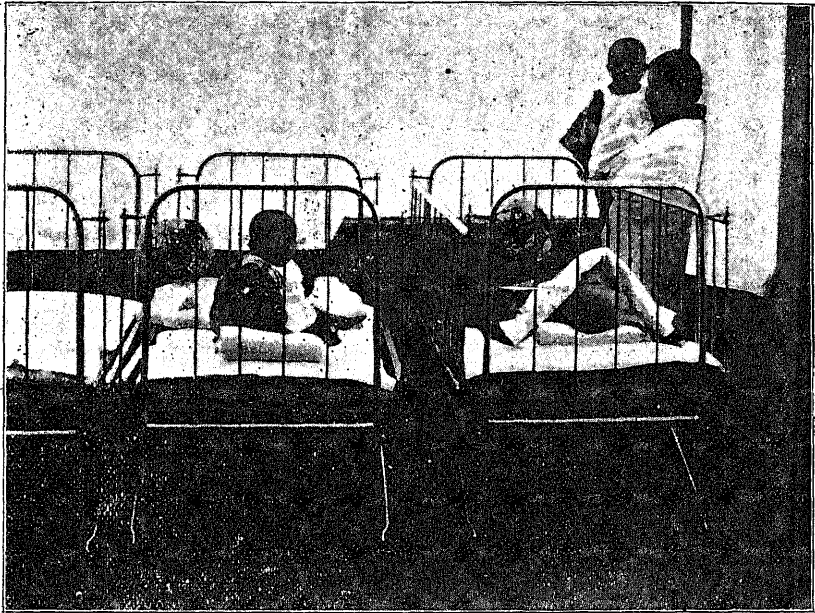
# 母に代りて

東京市王姫町市民館 北井ますゑ

乳幼児の晝間保育する所を一名保育園亦是託兒所と稱へております。

私共の託兒所にも現在乳兒一五名と幼兒九二名を託せられて毎朝六時から晩の六時迄保育いたして居ります。委託されたお子様境遇を申上ればお母様に亡なられ、お父様とお子様遺されお父様は外に出て御働さにならなければならぬ、お子様御世話する方もない場合、亦お父様が七人のお子様を遺して亡なられた其日の暮らしにすら事缺く有様お母様は泣く時すら與へられないで翌日から働さに出ることを考へなければならぬ。

兩親が御揃ひになつて居つても家が貧しい爲に夫にのみすがることの出来ない子供の母親が託兒所の近所に澤山御座います。是等の事情に置かれております家庭から止むを得ず、赤チャンや幼き最も母親の手を要するお子様を託されます。一人々々のお子様の境遇を語られます時涙なしに聞いて居れなくなりませす。憐むべき事情を持つて居りますお子様たちを母に代つてお世話いたしますことは非常に歎ばしいことで御座います。斯うした境遇の方たちに託兒所の施設がなかつたら是等のお子様は何處に行くでせう。



託児所が増設されましたして幼稚園の教育を授けることのお出来にならない家庭のお子様迄保育される事が許されたらどんなに嬉しいことで御座いませう。

親御さんから大切なお子様を託されました私共の心持の一端を申ませう。お早いお子様で六時半、一番最初連れて来られるお子様をお迎えいたします時今朝は泣かないでお父様と機嫌よくお別れをして頂き度く先生お早う、露雄チャンお早う、お父さん行つてゐらしゃい、と言ひ得る迄に随分苦心しなければなりません。

最初のお子様は機嫌よく遊んでおれば次々と出席するお子様は拍子よく氣持のよい朝の自由遊を快よく過すことが出来ます。玄關を整頓させること、下駄箱に下駄を入れること。顔を洗つて來ないお子様の顔を洗つて上げること。お爪を摘みませう。お鼻を取りませうネ。紙を一々用意させる

こと。三々伍々戶外に砂場、ブランコ、スベリ臺、木馬、シーソーを持出して思ふ存分遊びにあさる

たお話を聴かせて、友達の美擧を讃えて喜んだり、新らしきお歌を教へて楽しませたり、お遊戯を共

まて遊ばせて置

々躍つては喜んで

きます。遊びに

時の過ぐるも忘れ

あさますと次か

ておりますが氣付

らくと悪戯が

いて保育室に年齢

考へられて來ま

に依つて組分をし

す。その時毎日

て各定められたお

大抵十時頃にな

室に朝の靜かな時

りませんが、會集

間フレイベル式の

を始めます。此

恩物を與へられて

時第二の幼き子

個人的な重に獨創

等の生活が室内

力を養ひ得る遊び

で新らしく始め

が續けられます。

られます。會集

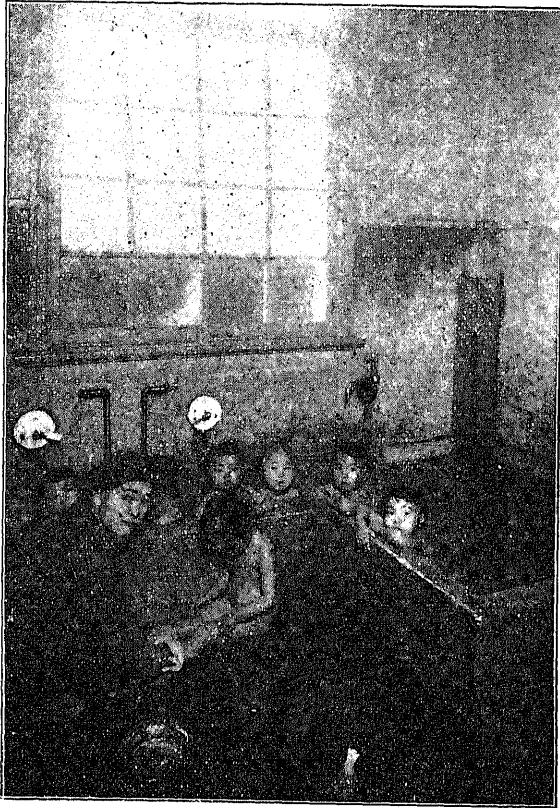
遊びにあさる時は

の指導の細心の注意で團體生活がむりもなく快く

お辨當を頂く時間の間際になつて居ります。お手

開展して行きます。子供の遊びを通して教へられ

洗ひを濟ませてお母様の温き心 こもつたお辨當



や亦母の手に作られないお子様の爲に保母の細心注意を拂はれた温き辨當が供へられて何等の變つた氣持ちにならないで喜々として中食が濟まされます。

毎日冬期には二組づゝ交代に入浴をさせます。

保母自ら一人々々を石鹼を使つて丁寧に洗つて下さいます。小使は衣物を着せまず手傳位です。お湯が濟みますと小さい組の方はスチームの通つた温き室でぐつすりと眠ります。冬期は大きいお子様はいゝ氣持ちになつて二時頃から手技をして遊びます三時にお八ツを頂きまして三時半にお歸りのお仕度にかゝります。手掛やエブロン、辨當箱等自分の持物をよく調べて持せます。

一同遊戯室に集つてお歸りの拶挨拶をいたします四時過ぎ歸りに下駄が間違つたり、片々になつたりして仲々時間が取れます。下駄が間違ひますと泣き出して歸りを厭ふお子様があります。保母は

代りの下駄を履せてお宅へお詫びに向つてやつと安堵する有様で御座います。それから六時、或時は七時迄もお迎への來ないお子様を遊ばせて居ります。長い時間と申せば長いのですが、時間が知らないうちに立つて四時過ぎて驚く日が重ねられてあります。

こんなに一日／＼があわたゞしく過ぎて行きますが保母は明日の保育材料、手技の考案、自然の變遷に付て幼兒の生活に必要な觀察を取入れることを忘れません。幼き子等と遊びながら種々研究されます。田舎に墓參に行く爲に三四日缺席の届出を受ける時田舎の産物や町の様子を細々と母親に尋ねて居られます。翌朝の會集の時田舎に歸て缺席せる子供のことを友達にお話するとかお土産のお茶の樹の枝を御話したり棉の實を話したり、都會で手に入れることの出來ない植物や種々なるものを御話するといつた様に寸暇も幼き子等を延ば



すことをお忘れになりません。保護者も只今は御話申上げなくとも、先生昨晚歸りました、蠶を持つて來ました、落花生の蔓に付いたものを持つて來ました、とか苦心しないで衣更ふの材料が備へられましたり快よき日が續きます。

毎月一回保護者會を開きますが病人があるとか、特別の出來事のない限り皆出席されます。

時間も殆ど履行出來ます。始めに幼兒の歌や、遊戯で開會いたしますが此遊戯を母様に見て頂いてよく覺えたことを母親に喜んで頂き度い気分も働き子供と母と先生とが協力して柔き保護者會を催して居ります。母の教育は保護者會のモットーとなつて居ります。

1、入浴に就て——働きに出て歸りますのは六時になつたり七時になつたりいたします。託兒所から連れ歸つて夕食の仕度をして居るうちに子供は疲れて眠つて仕舞ます。食事を濟ませて後片付

も濟み、お湯に參りますのは十時か十一時頃になります。熟睡して居ります幼き子を起して機嫌を損じながら冬の寒い夜風に當てながらむりに一週間に一度か十日目に一度かお湯に入るといふ状況にある子供達に取つて託兒所で入浴の準備が出来て居つて充分に湯を使つて入浴させることの出来まことは乳兒は勿論幼兒に取つても實に幸福なことと御座います。私共では千人位の人がつかつてもつかひきれない程お湯がお隣のゴム工場の廢爐で沸き立ますので乳兒と幼兒の小さい組の子供達を毎日午前十時から保母の手でお湯に入れて頂いて居ります。夜分お湯に入れない爲か本年は風邪に犯されることもなく大變健康で保育を續けて居ります。

2、中食に就て——お辨當を持って來られないお子様が御座います。また持ていらしても實に粗末なお惣菜が少量で冬期等泣かされることがありま

す。財界の不況の禍を受けて父親の失業が月を重ねて増加いたしました。その影響は幼き子等の丸々とした顔に直ちに現れて赤い頬は、菜葉色に萎えて來ました。私共は此現況を社會に訴へても捨て置けない問題となりました。種々の心配が報ひられまして昨年暮から託兒所では等の缺食して居るお子様に中食丈でも温く與へることになりました。一同おいしい中食を頂いて居ります。保母は榮養價のある献立を作り調理も自らされます。一食四錢五厘位の御馳走です。が稍々失ひかけた健康が回復した感じがいたします。

3、無料理髮——昨年の暮二十五日に日本堤署管内の理髮組合員諸氏の御奉仕で百五十名の兒童の無料理髮をして頂きました。子供一人の理髮料金がお安くて十五錢、二十錢ですがお正月が參りますに一ヶ月一度の散髪もして頂けなくて不衛生な頭をしておりました。兒童はきれいにして頂い



て非常に喜んでお内へ歸りました。母親が翌朝御禮に参りました、先生ありがたう御座いました。

まあきれいになつて來たので内の子か知らんと驚きました。髪をつんできれいにお湯に入れて頂いて、私の子供でも見ちがへる様に可愛くなりませ。

飾り氣のない感謝の挨拶を聞きまして歡びました。

私共はお祝ひの日が來ますと、衣物の心配やらエブロン心配やら、それからそれからと續いて居りますが着せてステータに立たせた時、實の母以上の歡びを味はせて頂いて居ります。

× × × × × × × ×

### 乳幼児愛護週間に就いて

乳幼児愛護運動は、昭和二年以來毎月五日を期し全國一齊に舉行せられ、年毎に盛になつて参りました。然るに、今回各方面の要望より、第二回全國兒童保護事業會議の決議によつて、本年度よりは「乳幼児愛護週間」として、一層その運動を効果的ならしむることとなりました。従つて本年は、五月五日を中心として一週間に亘り「第五回全國乳幼児愛護週間」を實施することになりました。何卒、皆様の幼稚園、託兒所に於かれても、充分の御用意、御計畫を以て迎へ、本旨の普及徹底を計り、所期の成果を收められむことを切望致します。

# ホームに基調せる幼稚園の經營一端

(これは去る十一月の全國保育大會に於ける研究發表であります)

岡山女師幼稚園 岡

政

幼稚園の經營は見世物でない。卑しくも幼児を世話する以上其教育愛に依て當然生れなければならぬものである。教育生活の覺書として生れる場合もあらう。日々の記録として残される場合もあらう。何れにせよ生れるものは吾人皆異にすべきものである。此意味に於て今日の私の經營の一端も全く私丈のもの私の園丈のものに過ぎない事をおことわり致して置きます。

「昭和は家庭教育の時代なり」明治から大正前半期に於ける學校教育萬能の時代はとうくに過去りました。大戦後引續き起りました思想問題社會

問題の影響は引續き社會教育を勃發してまゐりました。茲に残された教育分野中最も大切で而も根本的なる家庭教育、それが此の昭和の御代にさげられる事は當然の事て又誠に喜びに絶えない次第であります。今春文部當局に於ける家庭教育講習會を手初めに又今回は日本幼稚園協會の御提出の問題と云ひ皆此の此に留意されて居る事が伺はれますので愈々意を強くする次第であります。果して昭和は家庭教育の時代なり。

偕此の家庭教育に對する私共のとるべき道それは前日既に研究され立派な説も伺つた譯で私とし

ても大に其様につとめ度思つてゐます。然し私として家庭を指導などいふ口幅廣い事は申される柄でない事勿論であります。そこで如何にすべきかと申しますと

現在に於ける家庭の母親はやはり本能愛にのみ走り易い傾向があります。それを理性の光に依て磨きかける事換言すれば反對に理性愛にのみからみ易い幼稚園の保姆の心持化さしめる事其方法をして幼稚園の保育化さしめる事これはあながち出來得ないでもないかと思ひます。何故ならば現在は母親の教育力も進み相當に理解の力も出來て居る今日の事故、そして又一面現在の幼稚園も最上のものといはれぬ故兎角理性愛のからまりといつてよい其教育をして目下大に尊重されつゝある家庭教育化する事保姆をして家庭の母親の心持化さしめる事は亦前者よりより以上大切かと思ひます斯くして保姆と母、幼稚園と家庭とが互に其長短

を了解し、結付いて、そして子女教育の爲めに眞に協心指導の任に當るといふ事は、一方幼稚園教育を効果あらしめる事となり又一方家庭教育の進行を促し得るものなりと信じます。恰も亞米利加コロンビヤを中心に目下盛んに行はれつゝある親師運動の心持効果と同様のものではなからうかと存じます。

かゝる意味のもとに私が幼稚園に於いて可成長の間考へても見又實施も致して居る然も或程度の自信を以てなしつゝある施設經營の實際の一端を話さして戴きませうと存じます。便宜上主なるものを羅列いたしませう。

### ◎ホームに基調せる組の編成

澤山の子供を預る以上其所に適切なる組といふものゝ編成される事は當然であります。約八十名の子供は年齢に依り三組に編成して居ます。然し

是れは保母の責任上の組で保育の方法上に於ける組は一口に申すと移動式といつて差支へないものであります。或は年齢別或は知能別、性別、又ある種の群其儘をもつてする自由集團に依るもの或は全幼児自由生活中に於ける、活動充實せぬ子供を集めるとか、或は材料を本體として適當の幼児を集める等恰も一社會一家庭に於ける同様の姿をもつて各方面の集ひ相互生活を行はしめるといふ所謂中心を常に移動さして居ます。決して保母の都合に依て固定した組のみに偏しない朝に夕に今日に明日にと適宜移動するものにして居る、即幼兒の自然の生活の姿を見て居るとどうしても固定し得られないのであります。次は

### ◎ホームに基調せる設備

どうかして濕ひのある暖味のある柔きのあるものそれを欲しいと存じます。あの家庭に於ける茶

の間の生活と座敷の生活と臺所の生活點に思つても美しいもの温いもの懐しいものであります。其れを思つた時どうしてもマツチ箱の様な室を同じ様に列べる事が出来ません。子供の爲の牢獄でない生かす場所だから、故に幼児が門をくぐると柱一本松の樹一本あの椽の隅からあの机に至る迄皆子供のものなのであります。皆友達となつて生きて働いてゐるものであります。すると種々の特色をもつて色々の姿をもつて幼兒の心持を開かすものでなければなりません。お庭へ出た時お臺所へ入つた時お座敷へ入つた時皆各種の豊富な環境は幼兒の心身の活動を各方面から刺戟啓發した其所に又となき樂しさも生れなければと思ひます。教育の基調が愛であれば園の全部は皆幼兒の要求なり趣味に適應せねばなりません。教育者の愛が燃えて居な、ければなりません。必ずオーガンがなければ、教壇がなければ、塗板がなければ、出來得

ぬといふ譯はありません。かゝる意味から私の方では各室毎にすつかり趣をかへてゐます。壁の色一つでも考へなければならぬのであります。第三者は是れを見て作業別の室だと比判して下さいませ。それかあらぬか兎に角家庭と同様に居心地よく然も豊富な環境中で常に充實した生活をとの念願から自ら生れた設備に外ありません。

### ◎ホームに基調せる時間と鐘

倉橋先生が常に教へて下さる「實生活を實生活へ」其生活は一連一帯切るに切れぬ生活なのであります。即其生活を縦から見ると徹頭徹尾遊戯生活で私共は此所に幼児の生活意味を認めそれを充實進展させそして目的生活へと導かねばならぬと考へます。横には彼等の在園中の生活を一貫し一日に於ける全生活に教育的意味を見出し指導する全日保育でなくてはならぬと考へます。遊ぶ時、

食事の時、登園の時、歸る時、凡てが保育の對象であります。故に此自然の生活、縦にも横にも切れぬ生活、これを對象とした時鐘も不必要時間割も邪魔になります。一日の保育は昨日も今日も明日も明後日迄もズツと繼續してゐます故。私の方では幼児の生活の一定の姿型換言せば取扱ひの型といふものは全然ありません。今日の保育と明日の保育とは全く異つてゐます。例へば、昨日ズツと設定保育が續いた、今日は天氣はよし終日自由生活だつた、とか。是れを幼児側からいふと、或子供は玩具室で種々の實驗觀察で正午迄も忘れてゐる。或子供は保母と共に小さい机を自分で持出して花壇の邊で平日も繪を描いて居る。或子供は大きい友達小さい友達と一緒に朝から砂場で公園造りをして居たがそれがすむと或保母とそこに居た子供文ほんとの公園へ遊びに出かけた等、幼児等は登園して何事をなしたか早歸園時刻が來た

と、恰も家庭のそれと少しも變らぬ何等型の備らぬ自然な氣持に於て終日を過すのであります。十數年前におきまして「先生今一度お集りしたらお食事もお歸へりネ」といつて居た其當時を思出し恥しくすまない感じが致します。

### ◎ホームに基調せる晝食

全日保育に於ける晝食は最意義を有するものであります。持參の辨當を取敢へず終へてといふ如きものでありません。其所に思付ました私の方では是又十數年前から保姆と幼兒の手とで晝食を炊きて居ます。共に米洗し共に煮えるのを待つて共に茶碗へつけて食べます。お互に話もする、蓄音機も聞き乍ら、少いのは三つ位多いのは六つ七つと、おまわりは三つ四つの間にケロリと食べてあとは食鹽か或は何もなくてもおいしいと申して平氣で戴きます。又かく食べるに至る迄の其保育そ

れがより大切でもあります。家庭の方の喜びは非常のもので時々食鹽が運ばれます。マゼ食の材料が送られるのであります。そして家庭で不平を云ひ乍ヤツト進められて二つ位が關の山の子供が楽しくおいしそうに四つ五つと平氣で食べて行く其有様を見て家庭の母親達に何物かを悟らせ得るのであります。

### ◎ホームに基調せる宿泊保育

私共が全心全力を捧げて全日の保育をなし然も八十名からの晝食も作り可成に骨折つた生活も是れを幼兒の家庭の心持に比べた時まだ遺憾の點があります。

私共が子供に對する眞の愛？

子供が保姆に對する心持？

すつかり心を開いて居るか否、兩者の心持は、靈は、魂は、ピッタリと合てゐるか、否茲に眞に

告白する時汗顔の至りであります。一面二六時中僅に四五時間其丈預つた丈では決して其効果が舉るものではありません。それも唯童謡を教へるとか遊戯を覚えさせるとか其位なんでもない事乍真に全我を以ての保育、魂による保育、人間から人間への教育、内からの教育、となると多人數を僅かに數時間位では真に物足りなく思ひます。もつとく奥底に觸れたい、殿堂迄喰入度、それには何を、何がと考へてゐる失先、或幼兒が申出した事が一動機となつて遂に宿泊保育といふものを實施するに至つたのであります。共に寢共に散歩し共に働く、是位親密になるものはありません。是位楽しいものはありません。只一回丈の宿泊によつてさへどれ位も互の心が相寄つた事でせう。到底一ヶ月や二ヶ月の比ではありません。子供は泊りの日だと申しますと踏む所も覚えぬ位喜びます。大きな規定の荷物を携へて先生來ましたよといふ

其時の顔は幼兒も保姆も慥かに朝登園の時よりもつとく親しい楽しいものをもつてゐます。市場へ行く、炊事をする、蒲團が運ばれる、夕方の散歩、電燈下のレコードコンサート、遊戯。幼兒は晝と同様に否一層くだけた親密さをもつて仕舞ひます。又下女の無い協同の生活だから自分で蒲團も敷きます、寢巻も着換へて洋服もたゝみますといふ有様です。寢てゐる姿は晝の程充分と保姆を困らせたヤンチャの子供もまるで佛様の様な圓満な顔容で寢てゐます。若い保姆の先生はマンデリともしないで次から次へとぬぐ蒲團をさせかけて風邪にならぬ様にと努めます。朝になると幼兒はニツコリ蒲團の上に起上り、周圍を見廻しぬむい眼をこすり乍、アラ先生も寢たのね僕の方早いよ、とサツサと洗面所へ友達と走つて行くといふ有様です。成城の小原先生が「子供の教育は八時以前と三時以後とにほんものがある」といはれた

のも此邊の事ではなからうかと察知されます。私共はかゝる事をして家庭教育の存在を奪ふといふのではありません。又同様にしようとするのでもありません。保姆としては其味に觸れて母の心持を知る事により教育者としての體驗をなし同時に身をもつて生活を全的に誘導しよう、そして其方法を母なる人に知らそうとの考へに外ならぬのです。かゝる事の實施以來母親は可成に云ひ難い其子供の事でも相談にまゐる様になりました。そして是れが動機で母なる人の晝の保育の手傳等發議されました。一部の幼児の母親や或は下女等が時々幼児と共に登園して共に歌つたり踊つたり掃除もしたり晝食等共にして歸つて行く其姿を眺めました時、家庭の幼稚園化も近き將來に近づいて來てゐるではないかと幼稚園の家庭生活化と共に嬉しく思ひます次第です。

かくする事に依つて庭園の連絡上には最効果を

認め得ましたので例へば『國十』、『澤田位』に止まつて居たものが此の實施後は、

『國十』、『澤田位』…20…30

五ト五ト十以上二十にも三十にも効果が擧つて來た事を甚だ嬉しく思ひます。

以上は當園としてなしてゐるほんの一端を極めて租略乍申述べましたのでありますが、纏りのないあつけないものになつて仕舞ひました。然し此貧弱乍私のかねての念願とする所が多少なりひらめいてゐるかと思ひます何卒御批正を願上ます。



# 園兒の作つた「いろはかるた」

福 島 幼 稚 園

幼兒の觀察は淺いから卑近の事が多い

い いけの中に鯉が居る

我國の池の中には鯉が澤山居ります

ろ ろばたはあぶない

北國には多く爐があります常に警戒される

は はなに水をやる

先生と共に花壇に水をやる

に にはとりが玉子をうむ

これも常に知るところ

ほ ほんをよむ

同

へ へいたいがてつぼうかつぐ

同

と トマトハウマイ

最近多く食べるやうになつた

ち ちからはつよい角力とり

ちからを思ふて角力取りを考へた

り リックサククシヨイタイナ

スキーに行く姿をみて

ぬ ぬいものするお母さん

毎日見て居りますから

る るすぬする花子さん

花子さんが火の用心しながらあるすぬしたお話をきいて聞かない時

を をてんとうさまはひかる

日常觀察

わ わんくほへる犬

同

か からはがカア／＼鳴いてくる  
 よ よるになるとみんなねる  
 た たんすの中のきもの  
 れ れんこんにあながある  
 そ そとであそぶとつよくなる  
 つ つめたいてほり  
 ね ねこがねずみをとる  
 な なきむしはわるい  
 ら らいさまはきらひ  
 む むかしばなしはおもしろい  
 う うんどうくわいはおもしろい  
 ゐ ゐのしゝこわい（繪をかく）  
 の のんきなとうさん  
 お おだんごうまい  
 く くまにのる金太郎さん  
 や やまにのぼる  
 ま まんぢゆう食べるとおいしい

同 年の暮でよく賣りに來ます  
 同 私共がよく申しますことで  
 同 此頃氷がはり出しましたから  
 ねこを思ひ出してねづみが出ました  
 常に家庭にていはれるから  
 雷を思ひ出して常に雷をきらふ子  
 お話ずきな子供である  
 おもしろいからうんどうくわいが出たらしい  
 これは假名づかひにかまひませんでしたがゐのしゝがありま  
 市中の店先などでみます  
 おだん子すきな子  
 お話や繪により知つてます  
 小山が園にもあり登り下りしてます  
 まんぢゆうづきの子供だ

け けんくわするといたい  
ふ ふねがそろ／＼うごきだす  
こ こまはくる／＼まわる  
え えんとつから煙が出る  
て てつきようを汽車がとほる  
あ あさねはわるい  
さ さつさと幼稚園に行く  
き きしやがはしる  
ゆ ゆたんぼはあたゝかい  
め めがねかけたおぢいさん  
み みかんだいすき  
し しんぶんよむお父さん  
系 系んこうに餌をやる  
ひ ひこうきにのりたいな  
も もゝたろう鬼たいぢ  
せ せんせいはいえらい  
す すなあそびはおもしろい

喧嘩とは腕力沙汰で打つ打たれると考へてゐるらし

蓬隈川の船を常々見て居るから

此頃こまの唱歌でくる／＼まわるを歌ふため

毎日我園の煙突から煙が出るをみて

常に観察

家人からも保母からもきかされたのであろう

同

常々観察

あさむいので毎夜ゆたんぼを入れるので

自分の家のおぢいさんは目がねかけてるから

此頃果物店に澤山あるのをみて

毎日家庭に在りみて居る

幼稚園で毎日餌をやるのをみて

毎日みたり聞いたりして乗りたいと思つてゐらし

お話をきいて

先生はいえらいと子供は思つてゐるほんとうに偉くならねばならぬ

子供は如何に砂遊びがすきか砂遊びなら終日でもあきない

# 保育手帳の中から

會津保育園

五歳の女兒「先生はなんで袴をはいてくるの姉  
ちやんみたひに帯をめて來たらよかんべーした」

音暫くたちてより其の中の一人の女兒「何んだつ  
てデブちやん(廣い事)の流しだこと」

庭で自由遊び中五歳の男兒突然頓叫な聲で、  
「先生虫よ虫々々ー保姆「そう青虫なの」つてき  
いたら兒「あのネ赤虫よ」近寄つて見ると蚯蚓が  
ニョロ〜

同日七歳の男兒も流場を見乍ら「ペラボウにい  
〜なア」保姆笑談に「ペラボウつてなあに」兒「と  
てもい〜こと」とニョロ〜顔にて元氣よく飛び去  
る。

幼稚園の流し場をコンクリートの巾廣いお流し  
に取替へるに園兒登園して變つたのに皆びつくり  
見る兒〜が「何んだつてい〜なア」等と異口同

五歳の女兒下駄箱を行つたり來たり自分の履物  
を探し求める様子。先生「足駄が見えなくなつた  
の」と塗りし足駄を指して「良子ちやんのもこん

なの」つて聞いたら「それでないのあのネ錠が敷いてあるの」先生は解せぬ顔にて考へられる御様子、暫く過ぎて思ひ出されたと見えて「あゝ疊がしいてあるんでせう」上下を探せられると下駄箱の下の方に見えなくなつて上つて居るのを取出されて「これでせう」兒「えゝどうも有難う」と嬉しげにお庭に遊び出る。

× × ×

保嬉摺紙を出して摺んで居る時に五歳の女兒「先生折紙がなくなると幼稚園がなくなるの」と心配氣な顔、側できいて居つた七歳の兒微笑し乍ら「なくなると月謝で買つて來るものネ」

× × ×

よく晴れ渡つた日全部園外保育に出かける前に道路の左側に整列、一人の保嬉高靴を穿いて居られるのを見て六歳の女兒「アラツ先生はモダンガール」保嬉微笑「あゝらモダンガール」つてなあ

に和子ちゃん」と笑談にたづねるに口に袖を當てゝ恥しげに横を向く。

× × ×

天狗の童話をして後、兒「先生天狗の鼻を折られて痛かんべーナア」保姆「えゝ痛い〜と泣いたでせう」兒「あれが居ると薬をつけてほうたいをしてやつたんだけんじよも」

× × ×

登園後四五人の男兒園會の側の水の流れる所を物珍しさうに一所を昵つと見つめて居る。保姆何事かと靜かにうしろに行つて見るとげんごろう虫が泳いでる。其の中に女兒も三四人集る。いつ迄たつても好奇心にとらはれて立去らうともしない。暫く見て居つた五歳の男兒虫を指して「これはどつからあしつこをするの」女兒一同「ヤァンダラ」七歳の女兒物知り顔で「タァナア水の中で水を呑むばかりダカラア」

× ×  
歸宅後幼稚園に遊びに来て六歳の女兒膽寫版を  
見て「これ鏡がまアぶつくつチャノ」

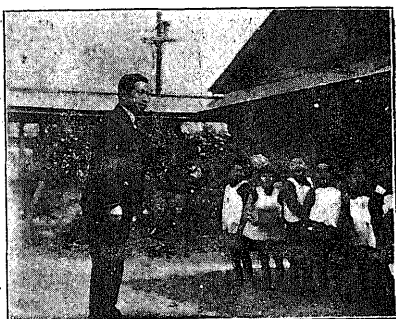
× ×  
男兒木馬に乗つて競馬遊び中記録係りの男兒  
「孝ちゃんの馬は一等三分五分 $1\frac{1}{2}$ 」

× ×  
町中を歩き乍ら六歳の女兒「先生此の道を通る  
時は口をべて通つせよ」保姆「どうして」女兒「し  
たつて此の道は肺病だと」

× ×  
六歳の女兒膽寫用インキを見て「これ漆だべエ  
ちらア家にもある」

× ×  
ハサミとカミばかりを出すヂャンケンボンのお  
遊戯中六歳の男兒困つた様な顔をして「先生なん  
でイシを出さなの」





## 春うらゝか

三月十三日

今日はまあ何といふ  
いゝお天気でせう。

組の子を連れて本校  
に行き寫真うつす。遊  
んでゐると林の組でも  
ぞろ／＼やつて來た。

この先生もコダック御持參。

幼稚園に歸る。

窓に見える小鉢、ヒヤシンスのとき色が春をう  
たつてでもゐるやう。

どのお室もみんな出拂つて机も腰掛もお留守番  
だ。

ブランコもひつきりなしに動いてゐる。

小臺上のレンガ刷り場は殊ににぎやかな。

しきのべられたゴザには腰かけ用の座ぶとん、

メリンヌ友染がぼか／＼してゐる。

窓から私が見てゐると知らず四五人は花咲爺さ  
んの話をしながらしきりに地べたを堀つて話中の  
人物になりすましてゐる。

ほんとに長閑な今日この春の日、東京中の幼稚  
園の子はきつとみんなお庭に出てゐるだろうと思  
ひつゝ歩いてゐると倉橋先生がいらつしやつた。  
廊下から玄關へ、庭へ。先生もたう／＼お出かけ  
だ。お煙草がいつ迄も同じ長さだ。つゞいて及川  
先生も。ずつと歩いて奥庭へ、多分御寵愛とな  
らぬ睡蓮の芽のその後のすがたを見にいらつしや  
つたらしい。

倉橋先生がニコ／＼ブラ／＼していらつしやる  
とお客様。やつぱり庭でそのまゝお話しがすんだ  
らしくお客様はやがてお歸り。

海の組は魁する春の日のビクニツクとしやれて  
バスケット片手にズラリとならんでゐる。本校の  
お庭でお辨當をたべるのださうで。この一隊へ號  
令をかけていらしやるところをバチリと教生の一  
人が。

何でも今日は外だ。

(よしこ)

# 昭和保姆養成所第四回卒業式に列りて

氏 原 鋳

三月二十四日生徒七十五名に對し卒業證書授與式をいともおごそかに舉げられました。私共老姉妹は昔の幼兒教育者として、幸に今日に生存して此御案内を辱ふして席末に列る事を喜ぶ。

當日土川所長及び倉橋講師兩先生より、卒業生一同に對し懇篤なる告辭あり。之れに對し卒業生總代の答辭は、其在學中の恩を感謝すると共に、所長としての土川先生、主任保姆としての田鶴子夫人の親にも勝れる慈愛深き溫情に對する感激の意を述ぶるに至るや、去るに臨みて惜別の情に堪えがたく、師の恩の歌の合唱の聲には涙のこもり

てうたひなされ、此眞情の溢るゝさまに私共も貰ひ涙を浮べたり。これによりて如何に土川兩先生の卒業生一同に對し其教養上慈みの深かい事を感歎せり。

當日倉橋先生の卒業生一同に對しての告辭の大要を記るして會員諸氏の御參考に供す。

皆さまの在學中に學習せられし諸學科は、幼兒教育者となる資格を作る爲て有つて、殊に保育に關する學理は之を其儘幼兒保育の上に施すべきものに非るなり。此學理は保育の基礎學科とし修得せられしもので、此の學理に基いて保育上の考案



及び方法を作出して適宜に應用せられたし。むづかしき理屈に拘泥するはよろしからざるなり。保育には左の二つの意義を以て心得とせられたし。

第一、保育者は幼兒に對し親切なる事。

心身發育の力弱き持ち主なる幼兒に對しては、萬事に同情厚く、遊ぶにも唱ふにも制作をなすにも手を取るにも、物柔らかに懇ろに親切に保護的にあしらひ殊に其心身狀態の異狀の徴候に注意して凡て愛情を以て取扱ひ保育すべし。

第二、保育者の人柄の<sup>に</sup>じ<sup>み</sup>より幼兒に優良なる感じを與へ其仕事の爲めに資する事

保育者の人柄<sup>より</sup>に<sup>じ</sup>み<sup>み</sup>出る様子の幼兒に何となく親しみと懐かしみを感じしむる力で、これが心がけとしては常に平和圓滿なる心を持ち其顔色に態度に、快活にして溫情に満ち、幼兒に氣まづき思を抱かしめず、常に内心の發露による親しみある明るさに、幼兒は引き付けられ、其後ろ姿を

認めても直ちに近付き來る如き、慕はるゝ態度の、保育者の人柄より出るに<sup>じ</sup>み<sup>み</sup>作用を要するなり。

此の作用を欠く者は幼兒教育の學理に通ずるも、其職責を完ふする能はざるものなり、以上保育者は親切と其人柄<sup>より</sup>に<sup>じ</sup>み<sup>み</sup>出る力と相待つて好成績を擧ぐる様心すべし。其曇りたる顔其活氣を缺く無精の態度を以てしては幼兒の爲め實に不幸と言ふべし。

(文責は氏原に)

式後盛んなる謝恩會あり奇拔の餘興に時間のたつのを覺えず歡を盡くし午後八時過ぎ閉會す。

x x x

x x x

○ 人類發祥の頃は人類も亦一物を身につけぬ裸體でありました。衣服といふものは、寒暑を避ける爲に人類の祖先が考へ出したものでありますが、

時代を經るにつれて、社會生活上裸體でゐる事が、外敵におそはれやすい爲の一種の武裝ともなり、今日に於いては裝飾として重要な位地を占める事になつて居ります。それ故社會と全く離れ、又外敵の危険もないならば、且又寒くも暑くもないならば、裸體で居るのが自然の姿であります。

太古の人々は裸體で手足を自由に動かして生活

してゐました。其の時代の生活快感は成人に於いては全くかけにかくれてしまつてゐますが、幼兒に於いては裸體になる事が愉快であるのが當然であります。

○ 見なれない人を見て子供が泣く、いはゆる「ヒトミシリ」は一種の恐怖感からであります。太古の人類が或程度迄群族生活を初めた頃、他族を突然見出した時にはすぐに危険を感じたに相異なく、又實際他族の襲來の爲に甚しい被害を受けた經驗を持つてゐたでせう。その頃未知の人類に對

して感じたであらう恐怖と、全く同一の恐怖を子供は人見知りの頃感じて泣くのです。

満一年から小學校入學の頃迄は、子供は知らぬお客があるとなすに身をかくしてしまひます。これは人見知りの延長と見るべきものであります。

○

初雪を喜ぶ幼稚園兒の心は好奇心のみで解釋すべきものではなくて、雪が白いといふ事が又大きな原因の一つです。

雪の日は明る感じます。汎んやあかるい地にあかるい雪がフラ／＼と動いてゐるのです。

人類發祥の頃は吾々には家がなかつたのです。そして明さを慕つてゐました。暗黒ほど恐いものはなかつたのです。暗黒は敵の襲來の時でした。天の岩戸の前での吾等の祖先の絶望と悲歎はどうでしたらう。人類は長い年代明さを求めてゐました。家を持つやうになつて、日中も光の左程

でない家の中にあるやうになりました。そして現代は夜の時代、暗さを求むる時代に迄なつて、カフエーの照明を明るせよと警視廳で命令しなくてはならぬ様になりました。

子供は人類初期の如く明さを求め、暗黒を恐れます。雪の明さ、それは子供の喜悅を買ふに十分であります。

○

子供は四つ五つになると男の子か、女の子かに分化しなくてはならなくなりません。しかし男の子と女の子との差は生れた赤ちやんの時からあります。生後満一年位の男の子の頭をかいてごらん下さい。女の子とはちがつて男臭いものです。赤子でも男子は男子です。

男の子と女の子の遊び方を見ませう。最も特徴のあるのはまり投げとお手玉です。子供が四つ五つになると女の子はお手玉をとります。男の子は

まり投げを初めます。女の子がまりを持ってばまりつきをやり、男の子がお手玉を持ってば投げて障子の骨を折ります。

女の子は一度手から放したものを又すぐに自分の手に返す遊びをしてゐます。男の子は手から放しても再びすぐに手にはかへさうとしないのです。

此の特性は兩性ともに殆ど生涯を通じて續けられるもので、女性はお年玉を隣家にかけてお返しが來ないと不服ですが、男は他人に物をくれればなしにしていゝ氣持になつてゐます。

## ○

色に對する子供の感覺も亦興味のある問題です。子供はすべて赤いものを喜びます。赤色は色彩の中で最も單的なもので、赤色は獸類でさへ刺激されます。スペインの闘牛で、闘牛士の着てゐるマントの裏はまつかです。この眞紅の色を牛の

鼻先にチラ／＼させると牛は刺激されて腹を立て、猛然として闘牛士に向つて來ます。狼は電燈の光は恐れぬが、焚火の赤い光を恐れる。

この例でお分りになるやうに赤は最もプリミチーブな色です。従つて心の單純な子供は赤いものを喜びます。この點に於いても男の子と女の子とを比較すると女の子の方がよけい赤をよろこびます。

## ○

幼稚園時代から小學校尋常科頃になると、女の子は何でも彼でも集めたがるやうになつて來ます。紙片も布きれも時には石ころも貝殻も皆集めて小箱や本箱の中にかくして置きます。

男の子の物を欲しがらる點では、女の子と同様でありますが、すぐに破つたりこわしたりして捨てしまふもので、女の子のやうな聚集癖を旺盛に表すことは稀であります。

○  
男の子も女の子も四五才から七八才頃に盗みの本能が現れます。他人のものを盗んでたのしむ本能です。

それは太古の人類がみんなやつた事で、それが一時子供に現れるに過ぎません。この時期に盗むべきものを置かぬか、或はほしがるものをドン／＼與へれば、この盗みの本能は現れて來ません。環境によつて本能の出現が遊止される適例です。

○  
子供の悪本能ともいべきものに放浪本能があります。

幼稚園頃の子供、特に男の子は一寸の間になくなつて、とんでもない所にいつてゐることがあります。甚しい時はその放浪本能が中學時代迄續いて家出をやります。又一家の主人になつてさへ

放浪癖が残つてゐて、銀ブラから大阪へいつてしまつた人などあります。

此の放浪性は人類の太古の姿であつて、農業以前の人類生活です。

男性と女性とどちらが放浪性が強いか。それは當然男の方がつよい。

× ×

これはこの頃興味深く讀んだ正木不如丘先生の著書の中から、自分の必要からぬき書きしたものです。

ドイツあたりでは子供の裸體運動が盛に行はれてゐるやうであります。これ等の材料中幼児の體育指導上参考となるべきものが、かなりあるやうに思はれます。

私は幼稚園の庭に美しい花を植ゑていたゞくより庭一面を美しい芝生にしていたゞらと思つて居ります。

# 音 喩 と 仕 形

四八

長 尾 豊

## 一

キルツの「幼稚園のち話と朝の訓話集」が出た  
一八九〇年は、小學校令の改正された明治二十三  
年にあたるから、それからモウ四十年の歲月が立  
ち、ホキシイの「幼稚園ち話集」が出た一九〇六  
年は同じく三十八年だから、すでに二十五年の日  
子を費してゐる。その間に出たブルスンの子  
供の世界に」をはじめ、多くの話材集を並べて見  
て、變遷推移の跡をたづね、進歩發達の道をたど  
るのも一面面白いとも思ひ、又西洋人が長い間掛  
つて通つたところを、僅々數年で通り抜けてしま

はうとするには、差當つての近道にムダをしない  
道しるべのやうでもあるとは思はれるが、どうや  
ら机上の閑事業らしくもあり、今の急がしい世の  
中に持出すのは、氣が引けて肩身の狹い感じさへ  
する。

本も來てゐれば早く翻譯も出來、一等多く讀ま  
れてゐるらしいブライアントの「ち話の聞かせ方」  
——と言ふとどうやら重言のやうにも聞える。丸  
善の店員の話では翻譯が出るとその原書が賣れる  
さうだから——や、クレッテイの「童話の研究」  
が出てからでもモウかれこれ十四五年、そろ／＼

ふた昔になりさうでゐて、お話のしらべも話方の

研究も餘りはかゝしく涉取つてゐないのは、餘りにすることが多くて、何もかも一遍に押寄せて来るやうな時勢が悪く、世の風潮が宜しくないにしても、まだその外にも幾つかの原因らしいものを數へることが出来る。

外のことはしばらく措くとしても、いつもしらべる對象がさまならず、研究の範圍が定まらないと言ふことも、いたづらに見當違ひを模捉したり、對象のまはり許りをグル／＼廻つてゐて、肝腎かなめの正味中味には少し觸れず、手の届かない憾みのある理由のやうにも思はれる。カナリ前からお話はしてゐても、幼稚園における談話といふものに就いての考が、言はゞ一家言のやうに區々とり／＼であつたり、又全くの「白紙」であつたりするといふやうな事も、原因のひとつはそのへんにあるらしく考へられる。

## 二

幼稚園の談話もお話の方から觀察すれば先づ幼兒ばなしではあらうが、同じく幼兒ばなしと言つてもそれ以前に家庭で物語られるもの、話者もひとり聞手もひとりで差向ひのお話や、子供を寝かしつける時の、仕形も表情も伴はない「おねんね囁」とは自ら別なものであり、それ以後に小学校の低學年で物語られる童話なども又幾分違つたものであらうと思はれる。

今日は家庭にお話がない時代ださうである。そこで「童話を家庭に返せ」など、いふ金切聲のやうな叫喚がおこるのでさうである。又幼稚園と小学校初級との連絡が考へられる割に、小学校の方が稍完全と言へなければ、とにかく調べられることだけはいろ／＼調べられてゐるに引きかへ、まだ餘り幼稚園の方では手が着いてゐない、といふ話を聞くこともある。これも外の點は分らないが

教室ばなしといふやうなお話の點からだけ見ると

どうも小學校の方が格段のちがひを示してゐるとも思はれない。もし家庭にもなくて、小學校にもないものとすれば、ひとり幼稚園のお話だけが備はらないと言つて責めるのは、これは責める者の無理であらうし、又その前後に比べれば必要に迫られるためでもあらうが、幼稚園でのお話といふものが、實際最も多く問題にされてゐるやうでもある。

最も多く問題にされてゐるだけあつて、従つて幼児ばなしに就いての誤解らしいものも亦決して少なくないやうである。幼児ばなしは幼児の興味や理解、受容の點からも考へられなければならぬが、そんなものを先づひと纏めにして、突込みにして考へると、分り易いためには幼児の言葉であるカタコトを用ゐ、モウひとつの幼児の言葉である動作や仕形、身ぶり手眞似をたくさんに使つ

て話せば好い、と至つて簡単に考へられる。

### 三

なぜこれを至つて簡単な、至極お手輕な考と言ふかと開かれたらば、それは幼児のカタコトや、それから言葉になる擬聲語と言つたやうなもの、烏カアカア、鳩ポツポ、お馬ヒンヒン、鈴ガラリンの類は、只單に幼児の用ゐる言葉だから使ふのではなくて、生き／＼したお話の叙寫に必要であり、耳に快い音楽的な感じをもつものだから繰返しの多い歌ばなし風のお話には缺くべからざるわけだと思ひ、又お話は本來言葉によつて傳へられ、言葉によつて視覚化されるものでもあるが、表情や仕形の補助があつて完璧となり、これらを缺いたものがお話でもなければ、言葉で身振をなぞり、身振で言葉をなぞるものがお話ではない、と思ふからである。

お話のしらべが順調に育たず、すぐ役に立つ實



際の要求に應じたわけかも知れないが、本質的にも、基礎的にも考へられず、方法論や態度論的に畸形に發達したらしいものに「實演童話」と稱せられるお話口演のひとつの型がある。この一時世間を風靡した實演型の特色としては、必要以上に言葉の多い、話の時間の長いこと、必要以上に振の多い、従つて又二倍の時間の掛かること、などが、幼児ばなしの方へも影響して、音喩や身振過多の話をもち嘸されるのではないかとも思はれるが、そのもととはやはり幼児ばなしとはいかなるものであるか、お話とは又そも／＼いかなるものであるか、その根本が明らかにされて居なかつたためであると思はれる。

それとモウひとつには、かういふ音喩や身振聲色だくさんのお話らしいものが、單なる形や言葉のかしきみとして、よしその話材や話法はどうあらうとも、簡便にお話に代り得るものであると思

はれ又時としては子供や心なき大人がそれを見聞きして笑ふから面白いお話、上手なお話とあやまられて來たためであらうとも思はれる。

## 保育談話會

### 開催の豫定

來る五月十六日(土)午後二時より

東京女子高等師範學校附屬幼稚園に於て

# 四月の手技材料

目白幼稚園 和田 實

例に因つて、四月から五月に亘る手技材料に就いて考へて見ませう。ところで、四月五月は自然に恵まれた月ですから、手技材料も成る可くは此方面から取りたいと思ひます。散歩、摘草、潮干

狩、遠足、等の獲物が、當然、手技の材料となる可きであります。尤も、自然物を材料とすることは何も此時期に限るものではありません。春、夏、秋、冬を通じて、出来る限り自然物を採用す可きであります。永き冬の閉ぢ籠りから脱して、大自然の中に蘇へる様な心地して居る時に、此自然の快味を味はせる手段として、自然物を利用して

遊ばせると云ふことは最も時の宜しきを得たものと云はねばなりません。議論は先づ此位にして置いて、偕て、手技の實際は如何に？。先づ、郊外散歩遠足の獲物から考へませう。

散歩遠足の獲物、散歩や遠足の獲物としては土筆、もち草、よめな、れんげ草、すみれ、たんぽぽ、櫻草、等の草花又は梅、桃、櫻、ぼけ等の木の花、さては筍、ぜんまい、ふきのとう、などの芽生物であります。今是等の自然物は如何に手技材料となるかを考へて見ませう。

土筆、は子供の最も悦ぶ採集物です。其穂の堅

いは人形の首として面白いことは從來、よく行はれたものであります。色々の色紙や千代紙や散り紙などを與へて色々の人形を數多造らせるのも興があります。次には粘土で鉢を造つて、之に土筆を植えても面白いものです。或は砂箱の様なものに、山か、野邊の様子を作らへて、よめなやもち草と一所に、適宜に植えて、子供自身が採集して來た其場所を模造させても面白いでせう。又、

砂場や砂箱でなくとも、机上で圖畫紙のクレオンで、野邊の様子を書いて、之に土筆、よめな、などを適宜に、糊ではり付けさせても面白いものが出來ます。此時、もし、土筆などが基が太くて、紙の上に、甘く落ち付かなかつたら、一度新聞紙か淺草紙の間で押しつぶして、植物標本の様なものをこしらへて、それから、前述の様に使ふとうまく行きます。是は中々面白いものです。背景中の森や山や木の茂つた様などに、草の葉や、莖など

を利用して行くことも出來ます。殊に、色のある「花びら」などは色々に利用して糊付にすると風景中の家や、人や、木や、山など面白、表はすことが出來ます。菜の花、桃の花、櫻の花、など花辨は最も利用するに便利です。

すみれの花、では相撲探りと稱して、花の突起部同志をからみ合して引張りつこして花を花托の處から取りつこする遊びがありますが、餘り感心しません。何故と云ふに、有り餘る程にはない花で、寧ろ貴重の部に屬するものですから、今少し有利な方法で遊ばせたいと思ひます。是も、前記のつくしなどの様に圖畫紙の上に押し付け糊付にして鉢の様なものを書き添へると逆もよい繪が出來上ります。又、散歩して居る現場で、是をこしらへて、其場から其日遠足に來られなかつた人とか或は姉さんとか母さんとかに郵便で出すなどしたらば何んなに面白いか知れません。郵便にするには

造つたものを其儘封筒に入れる様にしてもよし、或は始めから「繪はかき」にこしらへて、途中ではがれ落ちぬ様に、バラフォン紙で、上張をしてもよいと思ひます。此場合料金は三錢出さねばならぬのかも知れませんが、此繪はがきはまだ實行して見たことがありますから、料金の處が不案内です。封筒の方は別に不審もありません。よく

實行することです。また別の方法は、他の可憐な小さい花と一所にして小さい花束をこしらへて、花屋がする様に紙でラツパ形に包んで家包にしてよし、友達への贈物を造つても至極よい温情的な親愛味たつぷりな土産物が出来ます。

れんげ草、は澤山にあるものですから、薬玉を造るとよい御土産が出来ます。其方法は澤山採り集めた花の莖を寄せて、花の頭だけを玉の形になる様に澤山集めて糸で、くゝつて結へる。此時其結へる處から花玉の中心を通して上の方に吊り下

げる糸口を出し、下の方へは飾りの尾（色紙を細長く切つたものか、或は色糸か）をつけることを忘れぬ様にする。優美な御土産が出来ます。其外、花輪、花紐、などは普通によく造ることですから、茲に書く程のこともないでせう。

たんぼ、是も、餘り豊富にあると云ふものでもありませんから、餘り數を使はないで出来るものが宜しいでせう。夫れには花を採る時に花の莖實は花の莖を一所に採つて、其中空な莖の中から花の中心を通じて「ひご竹」を通し之を重ねて行くときれいな花輪か花紐が出来ます。

ヒゴ竹の代りに少し長い針を使つて糸でしてもよいでせうが此場合には花の莖を短くしなければなりませんから、従つて花の數が多く入要になります。たんぼの葉の形は一寸外のものとなつて居るので、是は何とかして子供の注意を牽いてやりたいと思ひます。夫れには圖畫紙へ貼り付ける

遊を工夫するがよいと思ひます。是は無論採集現場の遊でなく、歸つてからの遊びでよいでせう。葉が少し萎れても一向差支ありません。却つて糊付には少し萎れた方が便利であります。

梅、桃、櫻の花、花の全形を其儘使ふものとしては、花輪が花紐でせうが押し花、も面白いでせう。色のある羅紗紙を台にして、帖り付けるときれいに出來ます。又、花の全體でなくとも、花びらの一つ一つを材料にして色々の帖り付け細工が出來ます。數のトランプ即ち「數象かるた」を造つても宜しいでせう。所謂、營生式模造物を造つても宜しいでせう。又、是等の木の葉も面白い細工の材料となりますが、少し時期が早いのでまだ使へないでせう。それから、花輪や花紐を造るにはヒゴ竹か又は針と糸とを要するでせう。そして麥藁を一寸位に切つたものを間に挟むと見えがします。

筍細工、筍は春の自然物細工としては最も面白いものであります。是に使ふ筍としては眞竹の子が太過ぎないで適當です。徑一寸位の所が一番使い頃です。皮をむいて眞を出し、之を適當に切つて桶、鉢、ひしやく、の類が雜作なく出來ます。また、大きい太い猛操竹の子、即ち普通の食用筍ではまゝごと用の盆皿其他色々出來ますが、是は少しもつたいないでせう。筍の皮はまゝごとこの材料か人形の着物になります。

笹の巻き葉。之は笹の子草履龜の子、などを編むのに都合のよいものであります。子供に造らせるとしては少し六ヶしいので、多くは先生が造つて遣る遊びになります。夫れでも結好だと思ひます。先生が手際よく細工する所を見せて居るだけでも、随分、子供には面白いものであります。

郊外の「まゝごと遊び」春の郊外で、まゝごと

遊びに興じさせる程、教育的な遊びが、またとありませうか、まゝごとするに要する道具即ち皿、鉢、碗の類を工夫することから始めて食料品の製造、夫れに要する種々の材料の蒐集、お客様の接待、儀禮等々を紫外光線の満ちた青天井の下で蝶の舞ひ遊び、かげろふの燃ゆる中で清き酸素に富んだ空氣を吸ひながら和やかに朗かに愉快に満ち々々て遊ぶ。之を體育の方面から見ても德育の方面から見ても偕ては智能教育の方面から見ても何處に不足がありませうか。幼稚園は出来るだけ此方面に活動して欲しいものであります。たとへ、智能方面の利益が全くないとしても、體育的に徳育的に頗る有益なものであります。其上智能的に最も大事な活動と云はれる蒐集、工夫の二大活動が行はれるのですから、教育者としては此時此遊びを閑却する様なことをしては其職責上濟まぬことになると思ひます。

潮干狩の獲物 潮干狩の獲物で細工の材料となるのは貝殻の利用と海草及砂の利用でせう。小さい貝殻はおはぢき遊びの材料となります。櫻貝の様なもののは貼り付け細工の材料となります。砂も貝殻の細くなつたものや普通の眞砂や色々異つた様子があるので貼り付（糊で貼り付ける）材料になります。二枚貝は布片又は縮緬紙の様なものに包むと面白い香入が出来ます。少し大きいのは柄を付けて小さな「ひしやく」が出来ます。蛤の大きいものになると實用的なものが出来ます。海草はまゝごと材料として適當です。砂は持つて歸つて砂箱を造る可しであります。かに、やどかり、えび等は觀察には好適な材料でせうが、手技材料には縁が遠い様です。併し、是等の觀察を繰り返し遊びす手段として、是が生物を材料として、夫れの住居を造つて遣ると云ふことは又面白い工夫遊びでせう。やどかりの住居は？ かにやえびのお

宿は？と云ふ様に箱庭的なものを造るとしても相當遊ぶことが出来るでせう。池を造り岩を置き砂や海草をあしらつて、潮干狩の場面を机上や家の庭に再現することは決して悪くない遊びであります。

次に、少し大きい子供の遊びとしてはあはびやあこや貝（眞珠貝）の様な中側の美しい貝殻を更に砥石に掛けて外側のあらさ、きたない部分を磨り耗らして眞珠質の美しい部分だけを薄く研ぎ出して之を色々の形に台紙の上に帖るなども面白いものですが、工程が少し永く掛るのと仕事が少し高等なので、小さい子には適さないかも知れませんが、併し、少し大きい子供でしたら悦ぶことは必定です。

以上で、摘み草と潮干狩の獲物を利用する手技を終つて置ませう。讀者諸君に何か面白い御考案があつたら御報告を得たいものであります。

### 東京市尾久に出來た

#### 「父子ホーム」

幼な子等と共に残された母親がある、同様に乳呑み子を抱へて働きにも出られず困つてゐる父親がある。前者に母子ホームが設けられてあるにならひ、今回、東京府社會事業協會によつて、東京尾久隣保館附近に「父子ホーム」が新設された。これは父親が仕事に出かける朝六時頃子供を集めに廻り、託兒所で食事の世話から面倒な身の廻りの世話まで引き受け、夕方父親のもとに返して父子に家庭生活を楽しませうといふ計畫で、父親によき配偶者が出来る迄は收容すると。

# 四月の園藝

五八

## 大 岩 金

幾回となく降りに降つた雪の跡をたつたのもつ  
いこの間のやうに思つて居りましたがはやまた雪

かとまがふばかりの花ざかりの候を迎へました。

どこの幼稚園でも愛らしい方々が澤山あ入りになつた事と思ひます。色々の點に新しくなりまして私共にはお正月のやうな感じも致します。この新しい氣持の中に何か皆様のお役にたちさうな新しい事を申し上げますとよろしいのですがいつものながらに是といふよい材料も得られません。もう前に申しました事の繰返しも時々は出るかも知かりませんが今からは行事めいた事を少しづつ申

し上げて皆様と御一緒に土いぢりしたいと思ひます。

まづ觀賞方面から申しますと草花類で開花して居りますものは大部分は秋植の球根類であります(三十卷第四號參照ありたし)その外春咲の宿根草類、或は二年草類でも比較的寒さに丈夫なもの又はフレーム或は藁圍等の防寒設備に依つて越冬したものは美しく咲いて居ります。即ち櫻草類、シネリヤ、デージー、パンジー、金盞花などの類であります。花木の類になりますれば瑞丁花、蓮翹、藤、海棠、櫻、椿などその主なるものであり



ませう。その外郊外に遊びに出かけますならば、れんげ、たんぼぼ、すみれ、さきごけなど、また野趣に富んだ數數の草花が咲きみだれて居ります。

### 種播き

草花類にありましては秋咲きのものを前月に引きつづき播種するのでありますが名稱は前に申した事がありますから省略致します。

蔬菜類、是は家庭での副食物としての蔬菜の意味でなく幼児を主としての蔬菜即ち作り易いこと成育期間の比較的短かいもの、收穫したものが幼児の何かに役立てられはしないかと思はれますものをあげる事に致します以後同様であります。

二十日大根、ビート、フダンサウ、シソ、レイシ、ヘチマ、菜豆、<sup>インゲン</sup>、<sup>フチャム</sup>、刀豆、落花生、ツルナ、ホホヅキ、玉蜀黍等であります。

二十日大根、ビートは赤色種を選んだ方が子供には興味がある事と思ひす。

フダンサウやツルナは別に美しくはありませんが大變丈夫なもので誠によく茂るものでありまして、フダンサウは外側からくく出た葉をかぎとれば新しい葉が内側に生じ暑い〜真夏の候でもよく緑葉をしげらせて居ります。ツルナは枝から枝といくらでも横にはひ茂るものでありますから芽先のやはらかい所を折りとつておきますればまたその脇から新しい芽を出して茂つて參ります。それ故是等は今播いておきますれば秋の未までたえずおまゝごとの材料などに供されることと思ひます。又家庭栽培の蔬菜としても充分價值あるものであります。

播種の仕方としては是等は移植に堪へるものでありますから苗床又は箱その他適當な場所に播種しておきまして後移植すればよいのであります。

ヘチマは大ヘチマといつて大變長いのと食用ヘチマといふ小さいのとその中間の極普通のとあり

ますが色々交ぜれば變化があつて面白い事と思ひます。

菜豆は紅花種にすれば花が美しくて觀賞する事も出來ます。是は垣根などに絡ませ或は支柱を立て、是にのぼらせなどするのでありますから始めからその用意をして蒔きつけなければなりません（移植を怠りませんから）

その他のものは葉又は實を目的として空地があれば栽培しておきたいと思ひます。

#### 移植及定植

草花類では昨年の秋に播種したもので中には一、二回移植して霜除のしてあつたものもあります。中にはまだ一度も移植しないで苗床にこみ合つてゐるものもあります。一度もしてないものはなるべく早く植を替へて根を充分に張らせてやらなければなりません。また移植をしてありますものでもあまり霜除の下などで伸びすぎて居りますものなどは一度心をとめて上にばかり伸ばさないで側芽を出させて株を張らせてやる事も必要であります。

蕾の出たものは一定の場所に植を出しもしなければなりません、まだ觀賞の出來る花園の用意が出來て居りません場合は一時鉢にあげておきますのも一つの方法であります。その外露地植でなく鉢植にしてそのまゝ地に埋めてありますものとかフレーム内にとり入れてありますものなどは土から掘りあげ或は鉢をゆるめ又は摘心するなどなかなか多忙であります。

次にダリヤやカンナに就きましては既に申し上げては居りますが、また掘り上げてありませんならば早く掘り取つて一時假植（ダリヤ）をして置いて芽を出させた後芽分けをして次に定植するのであります。

#### その他の管理

睡蓮もそろ／＼芽分けをしなければなりません。同時にこれまで落葉や藁などで霜除したり水つ汚れ勝であつた鉢はこの際清潔にしてやりたいものです。

その外秋菊、有禪菊など秋咲のもの、株分をしたたりスキートビーや豌豆、トマトなども伸びるに

つれて支柱を立てゝやらなければなりません。垣根のバラも芽が込みすぎて居ります所は思ひきつて芽を少なく残して他はつみとつてやりませんと後になつて蚜蟲のためになやませます。

いつまで外にゐても何日つゞけて出てみてもこの候には次から次へとする事がつきませぬ。苗床にも花壇にも栽培するものゝ以上に勢力のよいのは雑草であります。まだ小さいのが少しばかりとしばらくそのまゝに捨てゝおきますればやがてはおどろくばかりになります。一本でも二本でも見つけ次第抜きとらなければなりません。

また除草と同時に灌水や施肥にも充分の注意をはらひましてますゝ成長をはからなければなりません。

次に害虫としていづれの草花、蔬菜にもつき易いのは蚜蟲であります。是は除蟲菊石鹼合劑で驅除されずから是を造つておいて少しでも早く驅除してやります。彼の繁殖力の強い事は實におびたしいものであります。その他デリス石鹼も有効の様であります。

蚜蟲以上に感じのわるい毛蟲類も此の頃から次第に害を及ぼして參ります。中でも櫻などに多くつきますのは天幕毛蟲であります。名の如く枝の分れ目になつてゐるやうな所に丁度幕の如くに袋状の巢を造りこの中で孵化するのであります。やがて是が成長します時はこの巢からはひ出て枝中に廣がりたちまちにして綠葉は一枚も残らない迄に食し盡されるのであります。それ故出來うる限り早く見付けることが肝要であります。そしてまだ巢の中からはひ出ないうちに焼きつくすのであります。

次にこの期を失しましたならば今度は藥劑による外ありません。驅除劑としては砒酸鉛の撒布が最も安全で且つ有効の様であります。使用に際して注意しなければなりませんことは晴天無風の時を選ぶことゝ葉の全面が濕ふやうに噴霧器で撒布することでありませぬ。

# 歐米に於ける學校給食の現状 (承前)

——北米合衆國に於ける學校給食——

榮養研究所技師

原

徹

一

## 二、榮養改善の方針としての榮養級組織

A、榮養級

榮養療院又は榮養級はボストンのウイリアムエマーソン博士(Dr. William Emerson)によりて創設せられた。一九〇八年末同氏は同氏の病院に於て多數の虛弱兒童を處置しあらゆる藥餌療法を試みたが、治癒せしめる事が出来なかつた。それで氏はボストン施療院の小兒部に來て四五千人の兒童につき研究を始めた。即ち此の中より最も榮養不良にて虛弱なるもの十五人を選び榮養級を構成

した。此の目的は各自を個々にそれらの處置をなすより斯様に團體的に衛生を注意し榮養を改善した方が効顯多かるべしとの豫想に基づいたのである。彼が此の研究を開始した時各兒童銘々に一冊宛の小冊子を備へ兒童が此の榮養級に入つてから四十八時間毎に其の間消費したる食物量、睡眠時間、戶外運動時間、食物攝取に要せし時間、其の他必要記録を記載した。此の外社會事業家が之等の兒童の家庭を訪問したる時觀察したる家庭の様子等を記入した。そして各兒童の年齢に相當する

正常標準體重曲線の記入せるカードに其の兒童の現在の體重を記入し現在その兒童は標準に對して如何なる地位にあるか、増加しつゝあるか又は減じつゝあるかを精細に明記する事にした。そして其の圖を各兒童に示し早く増重し標準に達する様督勵した。時々は兒童の養育者に參觀を強ひ兒童の進歩を見聞せしめた。一週間毎にそのカードを榮養手をして調査せしめ豫想の域に兒童が進まざる時はカードに表はれたる原因を探るため食量の多少、扁桃腺脱除の有無、感冒、早食ひ、衛生違反などを特に注意した。そして次の週に於ては更に之等の事項並に家庭の事情に注意して改善を心掛けた。

此の方法が甚だ顯著なる成績を擧げたので其の後此の方法は全米國に亘つて擴がり更に其の方法が改善されて愈々理想に近きものとなつた。

## B、紐育市

紐育市にて實行せる方法並に状態を記して見やう。紐育貧民救濟協會は榮養改善は「兒童保健に關する凡ての機關の協力を得て初めて良成績を擧げる事が可能である」となし各機關の協力を希望しつゝ此事業に着手した。本協會の榮養改善は三萬二千の貧民を有する特種地方に其の事業を開始し保健擁護プログラムに従つて其の分擔せる處を行つた。則ち兒童の榮養に關し或は妊娠時より兒童の出生時並に其の後の哺育時に於ける母子の榮養に關する一切の事項に就き注意深く之を指導する。此の爲に一五人の看護婦、五人の榮養手、一人の醫師、三人の齒科技術者が此の方面の仕事を担当してゐる。醫師が兒童を診察し榮養障礙を認めたる時は此の旨直ちに榮養手に通じ適當なる榮養食を與へ榮養改善を行はしめる。學齡兒童にして不完全發育のものは之を榮養級に入れる。榮養級の兒童に對しては學校に於て榮養手が常に怠り

なく其の兒童に注意し、又家庭に於ても注意せしめる。そのみでなく時々榮養手をして家庭を訪問せしめて養育者を教育する。最初の間は一週一度訪問し後には二週に一回訪問する事になつて居る。一人の榮養手は五〇人の兒童の世話をする。

即ち一週に一度體重の秤量家庭訪問、集會などがその仕事である。集會は一週に一回又は二週に一回開催し各榮養手が擔當せる榮養級の兒童を集め其の期間に於ける各兒童の榮養改善進歩につき懇切に説明して聽かせ成績良好なる兒童に對しては言辭を以て或は品物を贈つて之を賞し榮養教育と共に兒童が自發的に自己の改善を圖るやうに力めるのを主旨とする。學齡前の兒童に就きては常に母親をして兒童を各週毎に協會につれて來させ其の體重を秤るといふ事も困難であるので、榮養手が百二十ポンドの携帶用天秤を用意して家庭を訪問し兒童を一週一度秤量する事になつてゐる。若

しも體重増加が思はしくない時には其の旨母に注意しつゝ普通は十六週間繼續してこれを行ひ其の結果成績正常に恢復したる時に打切り思はしからざる時に更に追加して行ふ。正常に一度復したるものも、時折榮養手が家庭を訪問して經過を聽取し、注意を要すると考へたる時は再び體重秤量を初める。斯くして兒童の改善に力める。

結果。榮養級一組の成績。兒童六十二人十六週間の試験の結果、何れも増重をした、内譯して見ると二十四%は増重したるも正常線に達せず、七十六%は正常に達せしのみならず正常突破した。そして其の中には倍量になつたるものさへも珍しくなかつた。平均増加は元の體重に對し、七〇%であつた。

榮養級二組の成績。兒童數は五四人。此の際は方法を多少改良せしめた前より良成績を得た。正規以下は僅に一三%に過ぎず、八七%は皆正常以

上に達した。平均増加一二〇%であつて極めて良好なる成績を擧げた。

學齡前兒童の成績。兒童數は六一人。此の兒童の中一人は却つて體重減退したが他は何れも増加した。即ち全兒童の三一・一%は増加したるも正規以下のもので、六七・二%は増加して正規以上になつたものである。

即ち何れも良結果を示して居る事がわかる。

#### ホ、村落地方に於ける學校給養

農村地方又は山間地方に於ても都市と同じく學校給食は行はれて居る。戰前に於ては極めて少數であつたのであるが戰時中並に其の後の經濟界の膨脹の爲に給食事業の實行が容易となつたので俄かに發達を來たした。村落地方は都市に比較して兒童の通學距離が長いので到底晝食時に帰宅して食事を攝る事は不可能である。通學に際し完全なる辨當を携帯せしめる事も困難である。斯様に學

校給食の實行を必要とする事由多きと同時に其の實行を容易ならしむる事由も亦多々ある。都會地方と異り村落地方に於ては學校の調理所に必要なる敷地又は設備に金員を要する事が輕少であり、又勞力又は材料を提供する人民も少く無い。斯様な理由で村落地方に於ては學校給食の實行が容易とされて居る。今日ではネブラスカ、キャンサス、ウイスコンシン、コネチカット、ニューヨーク、カリフォルニア各州が最も盛に行つて居るが其の他の州に於ても相當に實行して居る。其の他の州に於ても相當に實行して居る。恐らく近き將來に於て全國に擴張實行されるものと考へらる。

#### へ、米國に於ける學校給食要旨

筆者が滯米中訪問せし勞働省兒童局 United States Department of Labour Childrens Bureau) ロバート (L.J. Robert) 氏及び市俄古市、屋外學校主事 キングスレー女史の二氏が筆者に語れる處を綜合

し之に筆者の見解を加へて見たい。先づ二氏の語る處を綜合記述すれば次の様である。英國に於ては學校給食は主として榮養不良兒而も貧民の兒童に限られて居る。實際に於て食物の不適は榮養不良の原因であり逆に適當は不良を改善する事が出来る。それ故學校給食の目的は家庭食の缺陷を補ひそれによつて兒童をして正規生長をなさしむるを目的とせねばならぬ。従つて給食兒童の選擇は

貧兒の救濟の目的によらず發育不良兒の改善と云ふ見地から之を行はねばならぬ。そして學校給食のみならず家庭に立ち入りて家庭に立ち入りて家庭食の改善をなさしむる様注意しなければならぬ。

處で米國に於ける學校給食の最初は學校にて食事を攝り得ざる兒童に温き榮養食を與ふるを目的として出發したのであつた。それ故只漠然と貧民部落の榮養不良兒の多からうと想像する地方のみ

に之を行つて他地方の榮養不良兒の選擇などはなさなかつたのであつた。即ち最初は只食事を與ふると云ふ事のみを考へて榮養の改善を決行しやうとまでは心付かなかつた事が今日より考へ見れば非常に間違つて居つた事を告白する。それが今では段々改善されて學校給食事業は發達し其の特殊の給食までするに至つた。」

筆者の見聞する處によれば米國の給食は勿論歐洲の方法と異つて居る。前二氏の言の如く其の最初は貧民の救濟を目的とし或は貧民階級の習性とする無駄使ひの費用を善用せしめやうと心掛けたのに發して居る。それが段々進歩して今日では榮養の改善を行はんとするに至つたのは慶賀に堪へないが其の方法に不完全なるものがあると思考される。例へば何れの給食も社會局又は教育局の補助極めて少く或は全然無き故自活自持を必要とする爲、或は甚だしきは利益さへも見んとする爲自



然兒童より徵集する食品代が高價となる事になる。之は兒童並に其の養育者に取つて多大なる苦痛であるが自持自活せんとする其の意氣込は結構な事と考へられる。米國の給食方法に關し筆者の賛成出来ない事は數種の食品中より兒童をして其の好むに委せ選擇せしむる事である。各種食品調理が何れも榮養完全であれば兎も角であるが必ずしもそうとは言へない。假りに完全であつたにしても兒童の嗜好の改善が出来ない。「味の教育」と言ふ事は榮養上最も大切な事であつて既に多年佐伯先生によつて唱導せられて居る處である。

要する米國に於ける學校給食は其の方法には缺點を有するも、其の給食施設の數量的に多き處と特殊榮養給食の方法並にそれに要する經費の潤澤なる處を特徴とするのである。

## 結 論

本文に於ては英佛獨塊米など主要各國に於ける學校給食の狀態に就き、或は簡單に或は詳細に之

を記述した。而して其の記述の内容體裁が皆同じからず讀者に不便を與へた事であらうが、之は筆者が研究の餘暇を利用して見聞したる事項を綜合記述したものであるから、長く滞在せし國と然らざる國とでは自ら其處に精粗の差を生ずる事となつたのである。然し此の問題の主要國英獨米の三ヶ國に就きては能ふ限り精細に又組織的に之を記載した積りである。

本文に記述せし如く今や歐米諸國に於ては學校給食問題は一大社會問題として國家的に之が實行に努力して居る。然るに其の方法に就き通觀するに各國皆其の特徴を有し何れも一長一短で截然と一致して無い。要するに榮養學的に之を批判すれば完全なるものは無い。然し假令不完全であつても此問題の貫徹を期し國家全體を擧げて努力して居るのは確かなる事實である。

英佛獨等の歐洲諸國は國家又は自治體の補助を受けて地方給食を行つて居る。従つて救濟を目的とするものであるから無償給食が其の主なるもの

である。此等の各國は各其の特徴を異にし、英國は給食に關する法律を制定し以て榮養不良にして義務教育を受けるに堪へざるものに對しては學校當局が必ず給食すべき義務を有して居る。従つて組織的には完全に近いが然し其の實際は之に實行が伴つて居ない。獨逸は國家經濟多難なる際に拘らず國家が補助して實行を期し學校當局も大に其の發達に努めて居る。其の意氣に於ては恐らく世界一と云ふ事が出來やう。然し給食の實際に就き精細に調査して見ると榮養分の少いものが多く一時の飢を凌ぐと言つた方が適當なやうな食物が多い之は何も好んでそんな物を與へるのではないが給食せしめねばならぬ兒童の多いのに比し資金が少いから止むを得ずやつて居るのである。佛國は學校給食の開祖であるだけに長い經驗を有し其の方法も適當と認められる。然し意氣と量とに於て充分でない。

米國は歐洲諸國と全く其の趣きを異にし極端に言へば全然カンフェテリア式の食堂である。無償で

給食する事あるは勿論であるが之は特殊のものであつて普通は兒童より代金を拂はしめる。代金の徴收は勿論歐洲に於ても行ふ處であるが其の金額が全費用に對し餘りに貧弱である。然るに米國に於ては大抵の給食團體が自活自持出來る程此の徴金が多いのである。市の補助を受けて居る處などは極めて少い状態に在る。そして此の國には榮養に相當智識を有する榮養手が給食を擔任して居る處は丁度我が日本榮養協會と同じである。又米國に於ては小學時代より榮養の科學に就き教育して居る。従つて小學校の三年級位になれば牛は榮養養上にどんな地位を占めて居るものであるか位は能く知つて居る。此處が米國の良い處であるが實際給食に當つて兒童に其の好ある食品を撰擇せしめて居る處は感心出來ない。偏食となつて榮養改善の目的に副はぬ虞れもあり又嗜好癖の改善即ち佐伯先生の所謂「味の教育」が出來ぬ事となる。

斯様に其の國々によりて方法を異にして居るが何れが可か何れが不可かは容易に判斷決定すべき

もので無い。國狀を異にせる國々が其の方法又は様式に差異を生じて居るのは當然である。

さて翻つて我が日本の學校給食狀態は如何なるかを考察するに遺憾ながら其の實行は極めて稀れで眞に不振の狀態に在る。其の數など實に數ふるに足りない有様である。既に緒言に於て記述せし如く日本榮養協會の給食を除きては他は小規模のものが多い。此の小規模のものでも或は不完全なものでもあれば結構であるがそれさへ無いのが普通である。そのみならず堪だしきは毎日兒童が携帯する辨當に就き何等注意さへしないやうな狀態に在るのは洵に遺憾に堪へない。今日まで此の事業が發達しなかつたには種々原因もあつた事であらうが要するに我が國民が榮養問題に覺醒して居なかつたのが何よりの原因であらう。

榮養改善の目的を以てする食事の供給は我が日本榮養協會が其の先例を開いたのである。其の方法は科學的基礎に立脚し其の實行に當つては堪能なる榮養技手が注意深く監督するのであるから其

の成績は極めて優秀である、東京府、東京市並に恩賜財團慶福會は助成金或は補助費を以て數回に及んで其の事業を表彰した。

此の給食問題は今や世界的潮流となつて各國に瀰漫せんとして居るのである。今日の所謂健康増進運動も其の第一歩は特に此の給食問題より始むべきである。我國に於ける給食の實行に就き考察するに各地方により其の方法を異にするを便宜とするのであらう。地方によりては何等政府又は地方當局の援助なくして之を實行し得る處もあらう。或は援助無しでは之を實行し得ずと考る向もあらう。目的が救濟であり慈善であるならば性質上援助を必要とする事もあらう。又寄附を必要とする事もあらう。然るに健康増進をモットゥとする以上は各自個々の問題である。即ち各個が爲すべきである。只憂ふる處は今日の教育程度では榮養に關する國民の智識が未だ發達して無いので指導者なくしては合理的給食の出來ない事である。之が爲には國民は斯學の修養をなさねばならぬ事は言

までも無い事であるが先づ差當り愛媛宮城兩縣が範を示した如く榮養に關する機關を地方廳内に設置し之に指導せしめる事が最も上策と考へられる又榮養食供給の實際に當りては日本榮養協會の方法が最も進んだものと考へらる。其の給食の方法などにつき記述する事は本稿の目的で無いからそれは日本榮養協會事業案内書に譲り茲には唯其の成績の一端を記述して榮養食供給が如何に現實の效果あるかを示し本稿を終る事とする。

日本榮養協會が榮養食の實費供給を創立以來繼續して行つて居る東京市立第一中學校が創立繼續して行つて居る東京市立第一中學校が創立後漸く一年半を經過したに過ぎざる時東京高等師範附屬中學校の同年級と柔道の仕合を行つた。其の成績表を一覽するに一中方は選手過半數の不戦者を殘して大勝した。而も其の技たるや殆んど何れも押へ込みと言ふ力技であつた。合理的辨當を食して一年半に満たざるに其の體育上に現はれたる榮養食の效果は實に偉大なるものである。或は東京市

社會局が震災後市の直轄する學校に行つた實例に就いて見るに僅か五ヶ月の給食で以て生徒の榮養不良率は十分の一に減じた。給食せざる普通の學校では家庭辨當を携帶し同じく食事せるに拘らず震災の影響を受け同期間に於て逆に十倍に増加して居るのである。之を以て觀るも如何に學校給食が兒童の體育に及ぼす効果の大なるかは能く知る事が出来る。

身體の發育佳良なれば従つて教育効果も著しく擧がるのは言ふまでもない。爲政者も國民も第二の國民の健康即ち我が國民の優生の爲一日も早く斯の學校給食の發達に努力すべきである。之れは實に我等國民の義務である。余は茲に我國に於ける學校給食の發達を祈るに當り今日まで顯著なる成績を示し來たりし日本榮養協會を我が國に有する事を誇りとする次第である。

(完)

# 定規文注

# 告

# 票

- 一、幼稚園及び小學校、家庭、育兒、看護等に關する論說調査研究等の寄稿を歓迎いたします。
  - 一、寄稿は一行二十四字詰に記して下さい。但改行は一字下げること、また句讀點は一字あけること。
  - 一、寄稿並に本誌の編輯に關する通信、紹介及び寄贈の新刊書、交換雜誌、入會手續、更に本誌の購讀及び廣告に關する通信並に照會等一切左記編輯兼發行所宛に願ひます。
- 東京女子高等師範學校附屬幼稚園内**
- ## 日本幼稚園協會
- 一、本誌御注文の方は凡て前金（郵税共）で願ひます。（郵便代用の場合には總て一割増）
  - 一、御送金の場合にはなるべく振替貯金で振替口座東京一七二六六番日本幼稚園協會宛に願ひます。
  - 一、送金の節には第何巻第何月號より第何月號迄と明記せられたし。
  - 一、本誌の代金に對しては別に領收證を差出しません。特に御入用の方は往復はがきで御申越を願ひます。
  - 一、會費切又は前金切の際にはその最終發送の雜誌の帶封に「前金切」の印章を押捺いたしますから其節は早速御送金を願ひます。
  - 一、本誌の見本御入用の場合には前金參拾五錢發送を願ひます。

## 告 廣

|             |            |
|-------------|------------|
| 特等面一頁 金參拾圓  | 二等面一頁 金貳拾圓 |
| 一等面一頁 金貳拾五圓 | 一頁以下御斷     |

神田區南甲賀町八品田奥松に御申込下さい。

## 發 行 所

東京女子高等師範學校附屬幼稚園内  
**日本幼稚園協會**  
 振替口座東京一七二六六番

不 許 複 製  
 禁 轉 載

編輯兼 倉橋惣三  
 發行者 倉橋惣三  
 印刷者 須藤紋一  
 印刷所 京華社印刷所  
 東京市麹町區飯田町二丁目五十番地

## 價 定

|         |        |      |
|---------|--------|------|
| 一ヶ月分一冊  | 金參拾五錢  | 送料壹錢 |
| 半ヶ年分六冊  | 金貳圓拾錢  | 送料   |
| 一ヶ年分拾貳冊 | 金四圓貳拾錢 | 送料   |

共

昭和六年四月十二日印刷納本  
 昭和六年四月十五日發行  
 幼兒の教育 第三十一卷第四號

（外國行郵税は一部金拾貳錢の割にて御拂込下さい）

廣島文理科  
大學教授  
文學博士  
久保良英  
先生新著

# 兒童研究所紀要 卷十三

大挿圖定價  
洋裝百圓  
全裝十二圓  
一冊十圓  
八錢

教育的に先進國たる歐米諸國に於ては、既に來國の構成に重要な位置を占むべき兒童を心理的、生理學的に研究して純粹なる學的立場から益々其効果を收めんと企て右施設に巨額の國費を擲つて惜まざる今日獨り我邦に、該機關の絶無なるを慨し、久保博士等同好の士が私財を投じて設立せられたる本研究所の貴重なる研究の發表は、恒に現代教育家の根柢的權威、最新智囊として學界に推獎せらるる。

## 三十卷內容目次

|                       |           |
|-----------------------|-----------|
| 兒童の體型と性格              | 文學博士 久保良英 |
| 基本選定兒童群に於ける宗教意識の基礎的研究 | 關寬定       |
| 死亡原因の相關的研究            | 文學士 松本順之  |
| 練習轉移の研究               | 文學士 千葉清治  |
| 吃音兒の研究                | 文學博士 久保良英 |
| 體力測定、附脚長及び扁平足の調査      | 文學士 小林一滋  |
| 自由畫による幼兒の精神發達測定       | 文學士 桐原葆見  |
| 適性検査法の實施及び檢討          | 安藤謙次郎     |
| 兒童社會生活の一面に於ける觀察       | 青木誠四郎     |
| 低學年に於ける團體智能検査法        | 文學博士 久保良英 |

# 兒童研究所紀要

合輯 11/12/13

1234合輯 定價九圓五拾錢  
送料五拾四錢

567合輯 定價拾圓五拾錢  
送料五拾四錢

8910合輯 定價拾圓五拾錢  
送料五拾四錢

智能検査定用具

ボール紙型箱入  
一組參圓送料拾八錢

智能の査定が手軽に出来る。兒童研究所紀要の實際的研究唯一の用具。

團體的智能検査用紙

BA式 定價各冊參錢

本用紙は久保先生の考案になる兒童智能検査用紙團體的。

發行所 東京市牛込區中文字館書店 電話 振替 東京三三三番 電話 二二五番

成城小學校訓導

奧野庄太郎先生著

兒童圖書館用書

東西童話新選

東西幼年童話新選

折角子供の爲にかゝれたグリムやアンデルセンの童話等も其翻譯や翻案が難詰な爲結局大人の讀物となる事は誠に遺憾です童話は飽まで子供の知能、子供の情緒、子供の徳性を培ふ源泉たる筈です。本童話新選は徹頭徹尾、子供の爲に用意された讀物で、極く平易な文章と用字で、特に子供の讀物として適切な活字と組方を研究し、たとひ其一字一句にも子供を對象としての親切さが満ち溢れてゐます。小館は發行に世界の童話を紹介すべく學習室文庫を發刊し全國學校から多大の賞讃を得ましたが、本童話新選は右文庫中最も兒童に親炙せるもの數十篇宛を選び、優雅な装幀堅牢な美本として新たに提供します。何卒各小學校、兒童圖書館並に一般家庭の御必備を希ひます。

梅櫻菊楓  
のののの  
卷卷卷卷  
尋一  
年二  
程三  
度常

各壹冊の定價と體裁  
各卷 菊判 全一冊宛  
各卷 總クローヌ洋綴  
各卷 紙數 五百頁宛  
各卷 插畫 四十葉  
各卷 彩色畫 四葉  
各卷 定價 二圓宛  
各卷 送料 廿七錢宛

東京市牛込區  
東天市一丁目  
辨一區四

中文字館書店

東京東區三七八番

大地人の  
のののの  
卷卷卷卷  
尋四  
年五  
程六  
度常

# 全商品の値下げを致しました

一般原料の下落、工賃の値下、産業の合理化、多量生産等により、原價が低廉になつた上に、今回は

需用者へ直接販賣をなし、卸賣を全廢  
以て取次者の利益をも直接需用者各位に差上ることに致しました。此の故に

絶対の廉價を御信用願ひます。

若し、同一商品にて他店より高價のものがありましたら、それ以下に値引いたします。御申越し下さいませ。

従來、幼稚園よりの御依頼にて、地方商人より御注文がありますと、多少割引を致して居りましたが、今後は絶対に割引致しません。

御園の御注文は直接当社へお申聞け下さいませ。

キンダーブックの定價五十錢を三十五錢に値下げした事は、此の主旨實施のトップを切つたものです。

保育品の御下命は左記へ。

東京・神田・一ツ橋通り教育會館内

株式會社  
フ レ ー ベ ル 館

電話(御注文用)九段(33)三八二七番  
振替口座東京一九六四〇番

## 値下げした上に

### 荷造費送料本社負擔

▽小包にて送られる品物は荷造費送料とも全部当社で負擔いたします。

▽鐵道便による大きな品物は、荷造料当社負擔、鐵道運賃のみ需用者御負擔にお願いいたします。(従來は荷造料も實費を頂戴しておりました。)



昭和四年五月十五日第三種郵便物認可  
(毎月一回十五日發行)

昭和六年四月十二日印刷納本  
昭和六年四月十五日發行

定價三十五錢